

出来形管理基準及び規格値－目次－

【第1編 共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
<b>第2章 土工</b>						
第3節 河川土工・海岸 土工・砂防土工	1-2-3-2		掘削工			I-26
	1-2-3-3		盛土工			I-26
	1-2-3-4		盛土補強工	補強土(テールアル メ)壁工法		I-26
				多数アンカー式補 強土工法		I-26
				ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		I-26
	1-2-3-5		法面整形工	盛土部		I-27
1-2-3-6		堤防天端工			I-27	
第4節 道路土工	1-2-4-2		掘削工			I-27
	1-2-4-3		路体盛土工			I-28
	1-2-4-4		路床盛土工			I-28
	1-2-4-5		法面整形工	盛土部		I-28
<b>第3章 無筋、鉄筋コンクリート</b>						
第7節 鉄筋工	1-3-7-4		組立て			I-29

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 一般施工						
第3節 共通の工種						
第3節 共通の工種	3-2-3-4		矢板工(指定仮設・任意仮設は除く)	鋼矢板		I-30
				軽量鋼矢板		I-30
				コンクリート矢板		I-30
				広幅鋼矢板		I-30
				可とう鋼矢板		I-30
	3-2-3-5		縁石工	縁石・アスカープ		I-30
	3-2-3-6		小型標識工			I-30
	3-2-3-7		防止柵工	立入防止柵		I-31
				転落(横断)防止柵		I-31
				車止めポスト		I-31
	3-2-3-8	1	路側防護柵工	ガードレール		I-31
		2	路側防護柵工	ガードケーブル		I-31
	3-2-3-9		区画線工			I-32
	3-2-3-10		道路付属物工	視線誘導標		I-32
				距離標		I-32
	3-2-3-11		コンクリート面塗装工			I-32
	3-2-3-12	1	プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋		I-33
		2	プレテンション桁製作工(購入工)	スラブ桁		I-33
	3-2-3-13	1	ポストテンション桁製作工			I-34
		2	プレキャストセグメント桁製作工	(購入工)		I-34
	3-2-3-14		プレキャストセグメント主桁組立工			I-34
	3-2-3-15		PCホロスラブ製作工			I-35
	3-2-3-16	1	PC箱桁製作工			I-35
		2	PC押し出し箱桁製作工			I-36
	3-2-3-17		根固めブロック工			I-36
	3-2-3-18		沈床工			I-37
	3-2-3-19		捨石工			I-37
	3-2-3-22		階段工			I-37
	3-2-3-24	1	伸縮装置工	ゴムジョイント		I-37
		2	伸縮装置工	鋼製フィンガージョイント		I-38
	3-2-3-26	1	多自然型護岸工	巨石張り、巨石積み		I-38
		2	多自然型護岸工	かごマット		I-38
	3-2-3-27	1	羽口工	じゃかご		I-39
		2	羽口工	ふとんかご、かご枠		I-39
	3-2-3-28		プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工		I-39
				プレキャストパイプ工		I-39
	3-2-3-29	1	側溝工	プレキャストU型側溝		I-40
				L型側溝工		I-40
				自由勾配側溝		I-40
				管渠		I-40
側溝工				場所打水路工		I-40

## 【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁		
第3節 共通の工種	3-2-3-29	3	側溝工	暗渠工		I-40		
	3-2-3-30		集水樹工			I-41		
	3-2-3-31		現場塗装工			I-41		
第4節 基礎工	3-2-4-1		一般事項	切込砂利		I-42		
				砕石基礎工		I-42		
				割ぐり石基礎工		I-42		
				均しコンクリート		I-42		
	3-2-4-3	1	基礎工(護岸)	現場打		I-42		
				2	基礎工(護岸)	プレキャスト		I-43
	3-2-4-4	1	既製杭工	既製コンクリート杭		I-43		
				鋼管杭		I-43		
				H鋼杭		I-43		
	3-2-4-4	2	既製杭工	鋼管ソイルセメント杭		I-43		
				3-2-4-5		場所打杭工		I-43
	3-2-4-6		深礎工			I-44		
	3-2-4-7		オープンケーソン基礎工			I-44		
3-2-4-8		ニューマチックケーソン基礎工			I-44			
3-2-4-9		鋼管矢板基礎工			I-45			
第5節 石・ブロック積(張)工	3-2-5-3	1	コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		I-45		
				コンクリートブロック張り		I-45		
		2	コンクリートブロック工	連節ブロック張り		I-45		
	3	コンクリートブロック工	天端保護ブロック		I-46			
	3-2-5-4		緑化ブロック工			I-46		
	3-2-5-5		石積(張)工			I-46		
第6節 一般舗装工	3-2-6-7	1	アスファルト舗装工	下層路盤工		I-47		
				2	アスファルト舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-47
				3	アスファルト舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-48
				4	アスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-48
				5	アスファルト舗装工	基層工		I-49
				6	アスファルト舗装工	表層工		I-49
	3-2-6-8	1	半たわみ性舗装工	下層路盤工		I-50		
				2	半たわみ性舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-50
				3	半たわみ性舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-51
				4	半たわみ性舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-51
				5	半たわみ性舗装工	基層工		I-51
				6	半たわみ性舗装工	表層工		I-51

## 【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-9	1	排水性舗装工	下層路盤工		I-52
		2	排水性舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-52
		3	排水性舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-52
		4	排水性舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-53
		5	排水性舗装工	基層工		I-53
		6	排水性舗装工	表層工		I-53
	3-2-6-10	1	透水性舗装工	路盤工		I-54
		2	透水性舗装工	表層工		I-54
	3-2-6-11	1	グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-55
		2	グースアスファルト舗装工	基層工		I-55
		3	グースアスファルト舗装工	表層工		I-55
	3-2-6-12	1	コンクリート舗装工	下層路盤工		I-56
		2	コンクリート舗装工	粒度調整路盤工		I-56
		3	コンクリート舗装工	セメント(石灰・瀝青)安定処理工		I-57
		4	コンクリート舗装工	アスファルト中間層		I-57
		5	コンクリート舗装工	コンクリート舗装版工		I-58
		6	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(下層路盤工)		I-58
		7	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(粒度調整路盤工)		I-58
		8	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)		I-59
		9	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		I-59
		10	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工		I-59
	3-2-6-13	1	薄層カラー舗装工	下層路盤工		I-60
		2	薄層カラー舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-60
		3	薄層カラー舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-61
		4	薄層カラー舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-61
		5	薄層カラー舗装工	基層工		I-61
	3-2-6-14	1	ブロック舗装工	下層路盤工		I-62
		2	ブロック舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-62
		3	ブロック舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-63

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-14	4	ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-63
		5	ブロック舗装工	基層工		I-63
	3-2-6-15		路面切削工			I-64
	3-2-6-16		舗装打換え工			I-64
	3-2-6-17		オーバーレイ工			I-64
	第7節 地盤改良工	3-2-7-2		路床安定処理工		
3-2-7-3			置換工			I-65
3-2-7-4			表層安定処理工	サンドマット海上		I-66
3-2-7-5			パイルネット工			I-66
3-2-7-6			サンドマット工			I-66
3-2-7-7			パーティカルドレイン工	サンドドレイン工		I-67
				ペーパードレイン工		I-67
				袋詰式サンドドレイン工		I-67
3-2-7-8			締固め改良工	サンドコンパクションパイル工		I-67
3-2-7-9			固結工	粉末噴射攪拌工		I-67
				高圧噴射攪拌工		I-67
	スラリー攪拌工				I-67	
	生石灰パイル工				I-67	
第10節 仮設工	3-2-10-5	1	土留・仮締切工	H鋼杭		I-68
				鋼矢板		I-68
		2	土留・仮締切工	アンカー工		I-68
		3	土留・仮締切工	連節ブロック張り工		I-68
		4	土留・仮締切工	締切盛土		I-68
	5	土留・仮締切工	中詰盛土		I-69	
	3-2-10-9		地中連続壁工(壁式)			I-69
	3-2-10-10		地中連続壁工(柱列式)			I-69
3-2-10-22		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-82	
第11節 軽量盛土工	3-2-11-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第12節 工場製作工(共通)	3-2-12-1	1	一般事項	鑄造費(金属支承工)		I-70
		2	一般事項	鑄造費(大型ゴム支承工)		I-71
		3	一般事項	仮設材製作工		I-72
		4	一般事項	刃口金物製作工		I-72
	3-2-12-3	1	桁製作工	仮組検査を実施する場合		I-73
				シミュレーション仮組検査を実施する場合		I-73
		2	桁製作工	仮組検査を実施しない場合		I-75
	3	桁製作工	鋼製えん堤製作工(仮組立時)		I-76	
	3-2-12-4		検査路製作工			I-76

## 【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 工場製作工(共通)	3-2-12-5		鋼製伸縮継手製作工			I-76
	3-2-12-6		落橋防止装置製作工			I-77
	3-2-12-7		橋梁用防護柵製作工			I-77
	3-2-12-8		アンカーフレーム製作工			I-77
	3-2-12-9		プレビーム用桁製作工			I-78
	3-2-12-10		鋼製排水管製作工			I-78
	3-2-12-11		工場塗装工			I-79
第13節 橋梁架設工	3-2-13		架設工(鋼橋)	クレーン架設		I-55
				ケーブルクレーン架設		I-80
				ケーブルエレクション架設		I-80
				架設桁架設		I-80
				送出し架設		I-80
				トラベラークレーン架設		I-80
	3-2-13		架設工(コンクリート橋)	クレーン架設		I-81
				架設桁架設		I-81
			架設工支保工	固定		I-81
				移動		I-81
			架設桁架設	片持架設		I-81
				押し出し架設		I-81
第14節 法面工(共通)	3-2-14-2	1	植生工	種子散布工		I-81
				張芝工		I-81
				筋芝工		I-81
				市松芝工		I-81
				植生シート工		I-81
				植生マット工		I-81
				植生筋工		I-81
				人工張芝工		I-81
				植生穴工		I-81
				2	植生基材吹付工	
	客土吹付工		I-81			
	3-2-14-3		吹付工(仮設を含む)	コンクリート		I-82
				モルタル		I-82
	3-2-14-4	1	法砕工	現場打法砕工		I-83
				現場吹付法砕工		I-83
	3-2-14-4	2	法砕工	プレキャスト法砕工		I-83
	3-2-14-6		アンカー工			I-83
第15節 擁壁工(共通)	3-2-15-1		一般事項	場所打擁壁工		I-84
	3-2-15-2		プレキャスト擁壁工			I-84

## 【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第15節 擁壁工(共通)	3-2-15-3		補強土壁工	補強土(テールアルメ)壁工法		I-85
				多数アンカー式補強土工法		I-85
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法		I-85
	3-2-15-4		井桁ブロック工			I-85
第16節 浚渫工(共通)	3-2-16-3	1	浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		I-86
		2	浚渫船運転工	グラブ浚渫船		I-86
第18設 床版工	3-2-18-2		床版工			I-87

出来形管理基準及び規格値―目次―

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
<b>第1章 築堤・護岸</b>						
第3節 計量盛土工	6-1-3-1		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第4節 地盤改良工	6-1-4-2		表層安定処理工		3-2-7-4表層安定処理工	I-66
	6-1-4-3		パイルネット工		3-2-7-5パイルネット工	I-66
	6-1-4-4		パーチカルドレーン工		3-2-7-7パーチカルドレーン工	I-67
	6-1-4-5		締固め改良工		3-2-7-8締固め改良工	I-67
	6-1-4-6		固結工		3-2-7-9固結工	I-67
第5節 護岸基礎工	6-1-5-3		基礎工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-42
	6-1-5-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
第6節 矢板護岸工	6-1-6-3		笠コンクリート工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-42
	6-1-6-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
第7節 法覆護岸工	6-1-7-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	6-1-7-4		護岸付属物工			I-88
	6-1-7-5		緑化ブロック工		3-2-5-4緑化ブロック工	I-46
	6-1-7-6		環境護岸ブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	6-1-7-7		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-46
	6-1-7-8		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-83
	6-1-7-9		多自然型護岸工	巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	I-38
				巨石積み	3-2-3-26多自然型護岸工	I-38
				かごマット	3-2-3-26多自然型護岸工	I-38
	6-1-7-10		吹付工		3-2-14-3吹付工	I-82
	6-1-7-11		植生工		3-2-14-2植生工	I-81
	6-1-7-12		覆土工		1-2-3-5法面整形工	I-27
	6-1-7-13		羽口工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
ふとんかご				3-2-3-27羽口工	I-39	
かご枠				3-2-3-27羽口工	I-39	
連節ブロック張り				3-2-5-3連節ブロック張り	I-45	
第8節 擁壁護岸工	6-1-8-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	6-1-8-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-84
第9節 根固め工	6-1-9-3		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-36
	6-1-9-5		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-37
	6-1-9-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-37
	6-1-9-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-39
第10節 水制工	6-1-10-3		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-37
	6-1-10-4		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-37
	6-1-10-5		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-39
	6-1-10-8		杭出し水制工			I-88
第11節 付帯道路工	6-1-11-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31
	6-1-11-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-47
	6-1-11-6		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-56

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 付帯道路工	6-1-11-7		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-60
	6-1-11-8		ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	I-62
	6-1-11-9		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-40
	6-1-11-10		集水樹工		3-2-3-30集水樹工	I-41
	6-1-11-11		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-30
	6-1-11-12		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-32
第12節 付帯道路施設工	6-1-12-3		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-32
	6-1-12-4		標識工		3-2-3-6小型標識工	I-30
第13節 光ケーブル配管工	6-1-13-3		配管工			I-88
	6-1-13-4		ハンドホール工			I-89
<b>第2章 浚渫(川)</b>						
第2節 浚渫工(ポンプ浚渫船)	6-2-3-2		浚渫船運転工(民船・官船)		3-2-16-3浚渫船運転工	I-86
第3節 浚渫工(グラブ浚渫船)	6-2-4-2		浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	I-86
第4節 浚渫工(バックホウ浚渫船)	6-2-5-2		浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	I-86
<b>第3章 樋門・樋管</b>						
第3節 軽量盛土工	6-3-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第4節 地盤改良工	6-3-4-2		固結工		3-2-7-9固結工	I-67
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	6-3-5-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	6-3-5-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
	6-3-5-6	1	函渠工	本体工		I-89
				ヒューム管		I-89
				PC管		I-89
				コルゲートパイプ		I-89
				ダクタイル鑄鉄管		I-89
	2	函渠工	PC函渠	3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-39	
6-3-5-7		翼壁工			I-90	
6-3-5-8		水叩工			I-90	
第6節 護床工	6-3-6-3		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-36
	6-3-6-5		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-37
	6-3-6-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-37
	6-3-6-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-39
第7節 水路工	6-3-7-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-40
	6-3-7-4		集水樹工		3-2-3-30集水樹工	I-41
	6-3-7-5		暗渠工		3-2-3-29暗渠工	I-40
	6-3-7-6		樋門接続暗渠工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-39
第8節 付属物設置工	6-3-8-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31
	6-3-8-7		階段工		3-2-3-22階段工	I-37
<b>第4章 水門</b>						
第3節 工場製作工	6-4-3-3		桁製作工	作工	3-2-12-3桁製作工	I-73

## 【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 工場製作工	6-4-3-4		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-76
	6-4-3-5		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	I-77
	6-4-3-6		鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	I-78
	6-4-3-7		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	I-77
	6-4-3-9		仮設材製作工		3-2-12-1仮設材製作工	I-72
	6-4-3-10		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-79
第5節 軽量盛土工	6-4-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第6節 水門本体工	6-4-6-4		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	6-4-6-5		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	6-4-6-6		矢板工(遮水矢板)		3-2-3-4矢板工	I-30
	6-4-6-7		床版工			I-90
	6-4-6-8		堰柱工			I-90
	6-4-6-9		門柱工			I-90
	6-4-6-10		ゲート操作台工			I-90
	6-4-6-11		胸壁工			I-90
第6節 水門本体工	6-4-6-12		翼壁工		6-3-5-7翼壁工	I-90
	6-4-6-13		水叩工		6-3-5-8水叩工	I-90
第7節 護床工	6-4-7-3		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-36
	6-4-7-5		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-37
	6-4-7-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-37
	6-4-7-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-39
第8節 付属物設置工	6-4-8-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31
	6-4-8-8		階段工		3-2-3-22階段工	I-37
第9節 鋼管理橋上部工	6-4-9-4		架設工(クレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-4-9-5		架設工(ケーブルクレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-4-9-6		架設工(ケーブルエレクション架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-4-9-7		架設工(架設桁架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-4-9-8		架設工(送出し架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-4-9-9		架設工(トラベラークレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-4-9-10		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
第10節 橋梁現場塗装工	6-4-10-2		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-41
第11節 床版工	6-4-11-2		床版工		3-2-18-2床版工	I-87
第12節 橋梁付属物工(鋼管)	6-4-12-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
	6-4-12-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-105
	6-4-12-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-105
	6-4-12-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-105
	6-4-12-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-105
第14節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	6-4-14-2		プレテンション桁製作工(購入工)		3-2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	I-33

出来形管理基準及び規格値－目次－

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第14節 コンクリート管理 橋上部工(PC橋)	6-4-14-3		ポストテンション桁 製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作 工	I-34	
	6-4-14-4		プレキャストセグメ ント桁製作工(購入 工)		3-2-3-12プレキャストセグメント 桁製作工(購入工)	I-33	
	6-4-14-5		プレキャストセグメ ント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント 主桁組立工	I-34	
	6-4-14-6		支承工		10-4-5-10支承工	I-104	
	6-4-14-7		架設工(クレーン架 設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-81	
	6-4-14-8		架設工(架設桁架 設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-81	
	6-4-14-9		床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-87	
	6-4-14-10		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105	
	第15節 コンクリート管理 橋上部工(PCホ ロースラブ橋)	6-4-15-2		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
		6-4-15-4		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
6-4-15-5			PCホロースラブ製 作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-35	
第16節 橋梁付属物工(コ ンクリート管理橋)	6-4-16-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37	
	6-4-16-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-105	
	6-4-16-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-105	
	6-4-16-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-105	
	6-4-16-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-105	
第18節 舗装工	6-4-18-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-47	
	6-4-18-6		半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	I-50	
	6-4-18-7		排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	I-52	
	6-4-18-8		透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	I-54	
	6-4-18-9		グースアスファルト 舗装工		3-2-6-11グースアスファルト舗装 工	I-55	
	6-4-18-10		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-56	
	6-4-18-11		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-60	
	6-4-18-12		ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	I-62	
<b>第5章 堰</b>							
第3節 工場製作工	6-5-3-3		刃口金物製作工		3-2-12-1刃口金物製作工	I-72	
	6-5-3-4		桁製作工		3-2-12-3桁製作工	I-73	
	6-5-3-5		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	I-76	
	6-5-3-6		鋼製伸縮継手製作 工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-76	
	6-5-3-7		落橋防止装置製作 工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	I-77	
	6-5-3-8		鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	I-78	
	6-5-3-9		プレビーム用桁製 作工		3-2-12-9プレビーム用桁製作工	I-78	
	6-5-3-10		橋梁用防護柵製作 工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	I-77	
	6-5-3-12		アンカーフレーム製 作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作 工	I-77	

出来形管理基準及び規格値－目次－

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 工場製作工	6-5-3-13		仮設材製作工		3-2-12-1仮設材製作工	I-72
	6-5-3-14		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-79
第5節 計量盛土工	6-5-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第6節 可動堰本体工	6-5-6-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	6-5-6-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	6-5-6-5		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-44
	6-5-6-6		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-44
	6-5-6-7		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
	6-5-6-8		床版工		6-4-6-7床版工	I-90
	6-5-6-9		堰柱工		6-4-6-8堰柱工	I-90
	6-5-6-10		門柱工		6-4-6-9門柱工	I-90
	6-5-6-11		ゲート操作台工		6-4-6-10ゲート操作台工	I-90
	6-5-6-12		水叩工		6-3-5-8水叩工	I-90
	6-5-6-13		閘門工			I-90
	6-5-6-14		土砂吐工			I-90
	6-5-6-15		取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	第7節 固定堰本体工	6-5-7-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工
6-5-7-4			場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
6-5-7-5			オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-44
6-5-7-6			ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-44
6-5-7-7			矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
6-5-7-8			堰本体工			I-90
6-5-7-9			水叩工			I-90
6-5-7-10			土砂吐工			I-90
6-5-7-11			取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
第8節 魚道工		6-5-8-3		魚道本体工		
第9節 管理橋下部工	6-5-9-2		管理橋橋台工			I-91
第10節 鋼管理橋上部工	6-5-10-4		架設工(クレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-5-10-5		架設工(ケーブルクレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-5-10-6		架設工(ケーブルエレクション架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-5-10-7		架設工(架設桁架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-5-10-8		架設工(送出し架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-5-10-9		架設工(トラベラークレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	6-5-10-10		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	第11節 橋梁現場塗装工	6-5-11-2		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工
第12節 床版工	6-5-12-2		床版工		3-2-18-2床版工	I-87
第13節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	6-5-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
	6-5-13-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-105

出来形管理基準及び規格値－目次－

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第13節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	6-5-13-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-105
	6-5-13-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-105
	6-5-13-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-105
第15節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	6-5-15-2		プレテンション桁製作工(購入工)		3-2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	I-33
	6-5-15-3		ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作工	I-34
	6-5-15-4		プレキャストセグメント桁製作工(購入工)		3-2-3-13プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	I-34
	6-5-15-5		プレキャストセグメント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	I-34
	6-5-15-6		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	6-5-15-7		架設工(クレーン架設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-81
	6-5-15-8		架設工(架設桁架設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-81
	6-5-15-9		床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-87
	6-5-15-10		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
	第16節 コンクリート管理橋上部工(PCホロースラブ橋)	6-5-16-3		支承工		10-4-5-10支承工
6-5-16-4			落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
6-5-16-5			PCホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-35
第17節 コンクリート管理橋上部工(PC箱桁橋)	6-5-17-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	6-5-17-4		PC箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	I-35
	6-5-17-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
第18節 橋梁付属物工(コンクリート管理橋)	6-5-18-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
	6-5-18-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-105
	6-5-18-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-105
	6-5-18-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-105
	6-5-18-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-105
第20節 付属物設置工	6-5-20-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31
	6-5-20-7		階段工		3-2-3-22階段工	I-37
<b>第6章 排水機場</b>						
第3節 軽量盛土工	6-6-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第4節 機場本体工	6-6-4-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	6-6-4-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	6-6-4-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
	6-6-4-6		本体工			I-92
	6-6-4-7		燃料貯油槽工			I-92
第5節 沈砂池工	6-6-5-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 沈砂池工	6-6-5-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	6-6-5-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
	6-6-5-6		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	6-6-5-7		コンクリート床版工			I-92
	6-6-5-8		ブロック床版工		3-2-3-17根固めブロック工	I-36
	6-6-5-9		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-40
第6節 吐出水槽工	6-6-6-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	6-6-6-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	6-6-6-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
	6-6-6-6		本体工		6-6-4-6本体工	I-92
第7章 床止め・床固め						
第3節 軽量盛土工	6-7-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第4節 床止め工	6-7-4-4		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	6-7-4-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
	6-7-4-6		本体工	床固め本体工		I-93
				植石張り	3-2-5-5石積(張)工	I-46
				根固めブロック	3-2-3-17根固めブロック工	I-36
	6-7-4-7		取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	6-7-4-8		水叩工	水叩工		I-93
				巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	I-38
根固めブロック				3-2-3-17根固めブロック工	I-36	
第5節 床固め工	6-7-5-4		本堤工		6-7-4-6本体工	I-93
	6-7-5-5		垂直壁工		6-7-4-6本体工	I-93
	6-7-5-6		側壁工			I-93
	6-7-5-7		水叩工		6-7-4-8水叩工	I-93
第6節 山留擁壁工	6-7-6-3		コンクリート擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	6-7-6-4		ブロック積擁壁工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	6-7-6-5		石積擁壁工		3-2-5-5石積(張)工	I-46
	6-7-6-6		山留擁壁基礎工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-42
第8章 河川維持						
第7節 路面補修工	6-8-7-3		不陸整正工		1-2-3-6堤防天端工	I-27
	6-8-7-4		コンクリート舗装補修工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-56
	6-8-7-5		アスファルト舗装補修工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-47
第8節 付属物復旧工	6-8-8-2		付属物復旧工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31
第9節 付属物設置工	6-8-9-3		防護柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31
	6-8-9-5		付属物設置工		3-2-3-10道路付属物工	I-32
第10節 光ケーブル配管工	6-8-10-3		配管工		6-1-13-3配管工	I-88
	6-8-10-4		ハンドホール工		6-1-13-4ハンドホール工	I-89
第12節 植栽維持工	6-8-12-3		樹木・芝生管理工		3-2-14-2植生工	I-81
第9章 河川修繕						
第3節 軽量盛土工	6-9-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第4節 腹付工	6-9-4-2		覆土工		1-2-3-5法面整形工	I-27
	6-9-4-3		植生工		3-2-14-2植生工	I-81

## 【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 側帯工	6-9-5-2		縁切工	じゃかご工	3-2-3-27羽口工	I-39
				連節ブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	I-45
				コンクリートブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
				石張工	3-2-5-5石積(張)工	I-46
	6-9-5-3		植生工		3-2-14-2植生工	I-81
第6節 堤脚保護工	6-9-6-3		石積工		3-2-5-5石積(張)工	I-46
	6-9-6-4		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
第7節 管理用通路工	6-9-7-2		防護柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31
	6-9-7-4		路面切削工		3-2-6-15路面切削工	I-64
	6-9-7-5		舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	I-64
	6-9-7-6		オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	I-64
	6-9-7-7		排水構造物工	プレキャストU型側溝・管(函)渠	3-2-3-29側溝工	I-40
				集水柵工	3-2-3-30集水柵工	I-41
	6-9-7-8		道路付属物工	歩車道境界ブロック	3-2-3-5縁石工	I-30
第8節 現場塗装工	6-9-8-3		付属物塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-41
	6-9-8-4		コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	I-32

出来形管理基準及び規格値－目次－

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
<b>第1章 道路改良</b>						
第3節 工場製作工	10-1-3-2		遮音壁支柱製作工	遮音壁支柱製作工		I-94
				工場塗装工	3-2-12-11工場塗装工	I-79
第4節 地盤改良工	10-1-4-2		路床安定処理工		3-2-7-2路床安定処理工	I-65
	10-1-4-3		置換工		3-2-7-3置換工	I-65
	10-1-4-4		サンドマット工		3-2-7-6サンドマット工	I-66
	10-1-4-5		パーチカルドレーン工		3-2-7-7パーチカルドレーン工	I-67
	10-1-4-6		締固め改良工		3-2-7-8締固め改良工	I-67
	10-1-4-7		固結工		3-2-7-9固結工	I-67
第5節 法面工	10-1-5-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-81
	10-1-5-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-82
	10-1-5-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-83
	10-1-5-6		アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-83
	10-1-5-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-39
第6節 軽量盛土工	10-1-6-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第7節 擁壁工	10-1-7-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	10-1-7-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	10-1-7-5		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	10-1-7-6		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-84
	10-1-7-7		補強土壁工	補強土(テールアルメ)壁工法	3-2-15-3補強土壁工	I-85
				多数アンカー式補強土工法	3-2-15-3補強土壁工	I-85
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法	3-2-15-3補強土壁工	I-85
10-1-7-8		井桁ブロック工		3-2-15-4井桁ブロック工	I-85	
第8節 石・ブロック積(張)工	10-1-8-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	10-1-8-4		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-46
第9節 カルバート工	10-1-9-4		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	10-1-9-5		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	10-1-9-6		場所打函渠工			I-94
	10-1-9-7		プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-39
第10節 排水構造物工(小型水路工)	10-1-10-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-40
	10-1-10-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-40
	10-1-10-5		集水樹・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	I-41
	10-1-10-6		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-40
	10-1-10-7		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-40
	10-1-10-8		排水工(小段排水・縦排水)		3-2-3-29側溝工	I-40
第11節 落石雪害防止工	10-1-11-4		落石防止網工			I-94
	10-1-11-5		落石防護柵工			I-94

## 【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 落石雪害防止工	10-1-11-6		防雪柵工			I-95
	10-1-11-7		雪崩予防柵工			I-95
第12節 遮音壁工	10-1-12-4		遮音壁基礎工			I-95
	10-1-12-5		遮音壁本体工			I-95
<b>第2章 舗装</b>						
第3節 地盤改良工	10-2-3-2		路床安定処理工		3-2-7-2路床安定処理工	I-65
	10-2-3-3		置換工		3-2-7-3置換工	I-65
第4節 舗装工	10-2-4-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-47
	10-2-4-6		半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	I-50
	10-2-4-7		排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	I-52
	10-2-4-8		透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	I-54
	10-2-4-9		グースアスファルト舗装工		3-2-6-11グースアスファルト舗装工	I-55
	10-2-4-10		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-56
	10-2-4-11		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-60
	10-2-4-12		ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	I-62
	10-2-4		歩道路盤工			I-96
	10-2-4		取合舗装路盤工			I-96
	10-2-4		路肩舗装路盤工			I-96
	10-2-4		歩道舗装工			I-96
	10-2-4		取合舗装工			I-96
	10-2-4		路肩舗装工			I-96
	10-2-4		表層工			I-96
第5節 排水構造物工 (路面排水工)	10-2-5-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-40
	10-2-5-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-40
	10-2-5-5		集水樹(街渠柵)・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	I-41
	10-2-5-6		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-40
	10-2-5-7		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-40
	10-2-5-8		排水工(小段排水・縦排水)		3-2-3-29側溝工	I-40
	10-2-5-9		排水性舗装用路肩排水工			I-97
第6節 縁石工	10-2-6-3		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-30
第7節 踏掛版工	10-2-7-4		踏掛版工	コンクリート工		I-97
				ラバーシュー		I-97
				アンカーボルト		I-97
第8節 防護柵工	10-2-8-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31
	10-2-8-4		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31
	10-2-8-5		ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31
	10-2-8-6		車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	I-31
第9節 標識工	10-2-9-3		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-30
	10-2-9-4	1	大型標識工	標識基礎工		I-97
2		大型標識工	標識柱工		I-97	

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第10節 区画線工	10-2-10-2		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-32
第12節 道路付属施設工	10-2-12-4		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-32
	10-2-12-5	1	ケーブル配管工			I-98
		2	ケーブル配管工	ハンドホール		I-98
	10-2-12-6		照明工	照明柱基礎工		I-98
第13節 橋梁付属物工	10-2-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
<b>第3章 橋梁下部</b>						
第3節 工場製作工	10-3-3-2		刃口金物製作工		3-2-12-1刃口金物製作工	I-72
	10-3-3-3		鋼製橋脚製作工			I-99
	10-3-3-4		アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作工	I-77
	10-3-3-5		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-79
第5節 軽量盛土工	10-3-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第6節 橋台工	10-3-6-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	10-3-6-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	10-3-6-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	I-44
	10-3-6-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-44
	10-3-6-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-44
	10-3-6-8		橋台躯体工			I-100
第7節 RC橋脚工	10-3-7-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	10-3-7-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	10-3-7-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	I-44
	10-3-7-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-44
	10-3-7-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-44
	10-3-7-8		鋼管矢板基礎工		3-2-4-9鋼管矢板基礎工	I-45
	10-3-7-9	1	橋脚躯体工	張出式		I-101
				重力式		I-101
				半重力式		I-101
2	橋脚躯体工	ラーメン式		I-102		
第8節 鋼製橋脚工	10-3-8-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-43
	10-3-8-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
	10-3-8-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	I-44
	10-3-8-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-44
	10-3-8-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-44
	10-3-8-8		鋼管矢板基礎工		3-2-4-9鋼管矢板基礎工	I-45
	10-3-8-9	1	橋脚フーチング工	I型・T型		I-102
		2	橋脚フーチング工	門型		I-103
	10-3-8-10	1	橋脚架設工	I型・T型		I-103
		2	橋脚架設工	門型		I-103
	10-3-8-11		現場継手工			I-103

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 鋼製橋脚工	10-3-8-12		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-41
第9節 護岸基礎工	10-3-9-3		基礎工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-42
	10-3-9-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
第10節 矢板護岸工	10-3-10-3		笠コンクリート工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-42
	10-3-10-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-30
第11節 法覆護岸工	10-3-11-2		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	10-3-11-3		護岸付属物工		6-1-7-4護岸付属物工	I-88
	10-3-11-4		緑化ブロック工		3-2-5-4緑化ブロック工	I-46
	10-3-11-5		環境護岸ブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	10-3-11-6		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-46
	10-3-11-7		法砕工		3-2-14-4法砕工	I-83
	10-3-11-8		多自然型護岸工	巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	I-38
			多自然型護岸工	巨石積み	3-2-3-26多自然型護岸工	I-38
			多自然型護岸工	かごマット	3-2-3-26多自然型護岸工	I-38
	10-3-11-9		吹付工		3-2-14-3吹付工	I-82
	10-3-11-10		植生工		3-2-14-2植生工	I-81
	10-3-11-11		覆土工		1-2-3-5法面整形工	I-27
	10-3-11-12		羽口工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-39
		かご枠		3-2-3-27羽口工	I-39	
		連節ブロック張り		3-2-5-3連節ブロック張り	I-45	
第12節 擁壁護岸工	10-3-12-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	10-3-12-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-84
<b>第4章 鋼橋上部</b>						
第3節 工場製作工	10-4-3-3		桁製作工		3-2-12-3桁製作工	I-73
	10-4-3-4		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	I-76
	10-4-3-5		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-76
	10-4-3-6		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	I-77
	10-4-3-7		鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	I-78
	10-4-3-8		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	I-77
	10-4-3-9		橋梁用高欄製作工			I-104
	10-4-3-10		横断歩道橋製作工		3-2-12-3桁製作工	I-73
	10-4-3-12		アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作工	I-77
	10-4-3-13		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-79
	第5節 鋼橋架設工	10-4-5-4		架設工(クレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)
10-4-5-5			架設工(ケーブルクレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
10-4-5-6			架設工(ケーブルエレクション架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80

## 【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 鋼橋架設工	10-4-5-7		架設工(架設桁架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	10-4-5-8		架設工(送出し架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	10-4-5-9		架設工(トラベラー クレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	10-4-5-10	1	支承工	鋼製支承		I-104
		2	支承工	ゴム支承		I-104
第6節 橋梁現場塗装工	10-4-6-3		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-41
第7節 床版工	10-4-7-2		床版工		3-2-18-2床版工	I-87
第8節 橋梁付属物工	10-4-8-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
	10-4-8-3		落橋防止装置工			I-105
	10-4-8-5		地覆工			I-105
	10-4-8-6		橋梁用防護柵工			I-105
	10-4-8-7		橋梁用高欄工			I-105
	10-4-8-8		検査路工			I-105
	第9節 歩道橋本体工	10-4-9-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工
10-4-9-4			場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-43
10-4-9-5			橋脚フーチング工	I型	10-3-8-9橋脚フーチング工	I-102
				T型	10-3-8-9橋脚フーチング工	I-102
10-4-9-6			歩道橋(側道橋)架設工		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
10-4-9-7			現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-41
第5章 コンクリート橋上部						
第3節 工場製作工	10-5-3-2		プレビーム用桁製作工		3-2-12-9プレビーム用桁製作工	I-78
	10-5-3-3		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	I-77
	10-5-3-4		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-76
	10-5-3-5		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	I-76
	10-5-3-6		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-79
	第5節 PC橋工	10-5-5-2		プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋	3-2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)
スラブ橋					3-2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	I-33
10-5-5-3			ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作工	I-34
10-5-5-4			プレキャストセグメント桁製作工(購入工)		3-2-3-13プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	I-34
10-5-5-5			プレキャストセグメント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	I-34
10-5-5-6			支承工		10-4-5-10支承工	I-104
10-5-5-7			架設工(クレーン架設)		3-2-13 架設工(コンクリート橋)	I-81
10-5-5-8			架設工(架設桁架設)		3-2-13 架設工(コンクリート橋)	I-81
10-5-5-9			床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-87

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 PC橋工	10-5-5-10		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
第6節 プレベーム桁橋工	10-5-6-2		プレベーム桁製作工	現場		I-105
	10-5-6-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	10-5-6-4		架設工(クレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	10-5-6-5		架設工(架設桁架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-80
	10-5-6-6		床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-87
	10-5-6-9		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
第7節 PCホロースラブ橋	10-5-7-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	10-5-7-4		PCホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-35
	10-5-7-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
第8節 RCホロースラブ橋	10-5-8-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	10-5-8-4		RC場所打ホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-35
	10-5-8-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
第9節 PC版桁橋工	10-5-9-2		PC版桁製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-35
第10節 PC箱桁橋工	10-5-10-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	10-5-10-4		PC箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	I-35
	10-5-10-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
第11節 PC片持箱桁橋工	10-5-11-2		PC片持箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	I-35
	10-5-11-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	10-5-11-4		架設工(片持架設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-81
第12節 PC押し出し箱桁橋工	10-5-12-2		PC押し出し箱桁製作工		3-2-3-16PC押し出し箱桁製作工	I-36
	10-5-12-3		架設工(押し出し架設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-81
第13節 橋梁付属物工	10-5-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
	10-5-13-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-105
	10-5-13-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-105
	10-5-13-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-105
	10-5-13-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-105

出来形管理基準及び規格値―目次―

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
<b>第11章 共同溝</b>							
第3節 工場製作工	10-11-3-3		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-79	
第6節 現場打構築工	10-11-6-2		現場打躯体工			I-106	
	10-11-6-4		カラー継手工			I-106	
	10-11-6-5	1	防水工	防水		I-106	
		2	防水工	防水保護工		I-106	
3		防水工	防水壁		I-107		
第7節 プレキャスト構築工	10-11-7-2		プレキャスト躯体工			I-107	
<b>第12章 電線共同溝</b>							
第5節 電線共同溝工	10-12-5-2		管路工	管路部		I-107	
	10-12-5-3		プレキャストボックス工	特殊部		I-108	
	10-12-5-4		現場打ちボックス工	特殊部	10-11-6-2現場打躯体工	I-106	
	第6節 付帯設備工	10-12-6-2		ハンドホール工			I-108
<b>第13章 情報ボックス工</b>							
第3節 情報ボックス工	10-13-3-4		管路工	管路部	10-12-5-2管路工(管路部)	I-107	
第4節 付帯設備工	10-13-4-2		ハンドホール工		10-12-6-2ハンドホール工	I-108	
<b>第14章 道路維持</b>							
第4節 舗装工	10-14-4-3		路面切削工		3-2-6-15路面切削工	I-64	
	10-14-4-4		舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	I-64	
	10-14-4-5		切削オーバーレイ工			I-109	
	10-14-4-6		オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	I-64	
	10-14-4-7		路上再生工			I-109	
	10-14-4-8		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-60	
	第5節 排水構造物工	10-14-5-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-40
		10-14-5-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-40
10-14-5-5			集水樹・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	I-41	
10-14-5-6			地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-40	
10-14-5-7			場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-40	
10-14-5-8			排水工		3-2-3-29側溝工	I-40	
第6節 防護柵工		10-14-6-2		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31
	10-14-6-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31	
	10-14-6-5		ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31	
	10-14-6-6		車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	I-31	
第7節 標識工	10-14-7-3		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-30	
	10-14-7-4		大型標識工		10-2-9-4大型標識工	I-97	
第8節 道路付属施設工	10-14-8-4		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-32	
	10-14-8-5		ケーブル配管工		10-2-12-5ケーブル配管工	I-98	
	10-14-8-6		照明工		10-2-12-6照明工	I-98	
第9節 軽量盛土工	10-3-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28	
第10節 擁壁工	10-14-10-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84	
	10-14-10-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-84	

出来形管理基準及び規格値―目次―

【第10編 道路編】

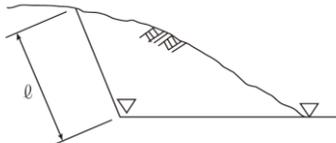
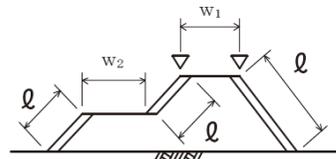
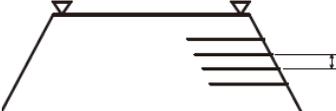
章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 石・ブロック積(張)工	10-14-11-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	10-14-11-4		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-46
第12節 カルバート工	10-14-12-4		場所打函渠工		10-1-9-6場所打函渠工	I-94
	10-14-12-5		プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-39
第13節 法面工	10-14-13-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-81
	10-14-13-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-82
	10-14-13-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-83
	10-14-13-6		アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-83
	10-14-13-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
		ふとんかご		3-2-3-27羽口工	I-39	
第15節 橋梁付属物工	10-15-15-2		伸縮継手工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
	10-15-15-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-105
	10-15-15-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-105
	10-15-15-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-105
	10-15-15-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-105
第17節 現場塗装工	10-14-17-6		コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	I-32
<b>第16章 道路修繕</b>						
第3節 工場製作工	10-16-3-4		桁補強材製作工			I-110
	10-16-3-5		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	I-77
第5節 舗装工	10-16-5-3		路面切削工		3-2-6-15路面切削工	I-64
	10-16-5-4		舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	I-64
	10-16-5-5		切削オーバーレイ工		10-14-4-5切削オーバーレイ工	I-109
	10-16-5-6		オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	I-64
	10-16-5-7		路上再生工		10-14-4-7路上再生工	I-109
	10-16-5-8		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-60
第6節 排水構造物工	10-16-6-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-40
	10-16-6-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-40
	10-16-6-5		集水枡・マンホール工		3-2-3-30集水枡工	I-41
	10-16-6-6		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-40
	10-16-6-7		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-40
	10-16-6-8		排水工		3-2-3-29側溝工	I-40
第7節 縁石工	10-17-7-3		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-30
第8節 防護柵工	10-16-8-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31
	10-16-8-4		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-31
	10-16-8-5		ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	I-31
	10-16-8-6		車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	I-31
第9節 標識工	10-16-9-3		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-30
	10-16-9-4		大型標識工		10-2-9-4大型標識工	I-97
第10節 区画線工	10-16-10-2		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-32
第12節 道路付属施設工	10-16-12-4		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-32

【第10編 道路編】

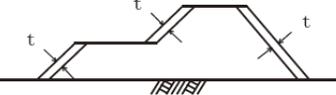
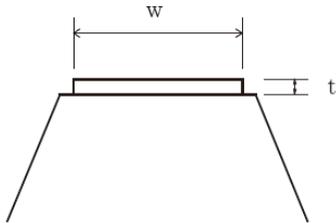
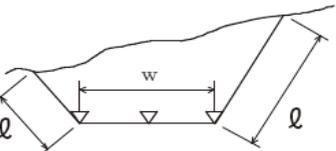
章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 道路付属施設工	10-16-12-5		ケーブル配管工		10-2-12-5ケーブル配管工	I-98
	10-16-12-6		照明工		10-2-12-6照明工	I-98
第13節 軽量盛土工	10-3-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-28
第14節 擁壁工	10-16-14-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-84
	10-16-14-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-84
第15節 石・ブロック積(張)工	10-16-15-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-45
	10-16-15-4		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-46
第16節 カルバート工	10-16-16-4		場所打函渠工		10-1-9-6場所打函渠工	I-94
	10-16-16-5		プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-39
第17節 法面工	10-16-17-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-81
	10-16-17-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-82
	10-16-17-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-83
	10-16-17-6		アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-83
	10-16-17-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-39
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-39
第18節 落石雪害防止工	10-18-18-4		落石防止網工		10-1-11-4落石防止網工	I-94
	10-18-18-5		落石防護柵工		10-1-11-5落石防護柵工	I-94
	10-18-18-6		防雪柵工		10-1-11-6防雪柵工	I-95
	10-18-18-7		雪崩予防柵工		10-1-11-7雪崩予防柵工	I-95
第20節 鋼桁工	10-16-20-3		鋼桁補強工		10-16-3-4桁補強材製作工	I-114
第21節 橋梁支承工	10-16-21-3		鋼橋支承工		10-4-5-10支承工	I-104
	10-16-21-4		PC橋支承工		10-4-5-10支承工	I-104
第22節 橋梁付属物工	10-16-22-3		伸縮継手工		3-2-3-24伸縮装置工	I-37
	10-16-22-4		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-105
	10-16-22-6		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-105
	10-16-22-7		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-105
	10-16-22-8		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-105
	10-16-22-9		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-105
第25節 現場塗装工	10-16-25-3		橋梁塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-41
	10-16-25-6		コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	I-32

## 【第14編 下水道編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 管路						
第4節 管きよ工(開削)	14-1-4-2		管路掘削			I-111
	14-1-4-3		管布設			I-111
	14-1-4-3		既製く形きよ			I-111
	14-1-4-4		砂基礎			I-112
	14-1-4-4		碎石基礎			I-112
	14-1-4-4		コンクリート基礎			I-112
第5節 管きよ工 (小口径推進)	14-1-5-2		削進工			I-113
	14-1-5-2		小口径推進工			I-114
第6節 管きよ工(推進)	14-1-6-2		中大口径推進工			I-114
第7節 管きよ工 (シールド)	14-1-7-2		一次覆工			I-114
	14-1-7-3		二次覆工			I-115
第8節 マンホール工	14-1-8-4		組立マンホール工			I-113
	14-1-8-6		特殊マンホール工 (躯体工)			I-113
第10節 立坑工	14-1-10-3		立坑土留工			I-115
	14-1-10-4		ライナープレート式 立坑工			I-115
	14-1-10-5		鋼製ケーシング式 立坑工			I-116
	14-1-10-2		立坑土工			I-116
	14-1-10		立坑基礎			I-116
第11節 地盤改良工	14-1-11-1		薬液注入工			I-117
	14-1-11-2		高圧噴射攪拌工			I-117

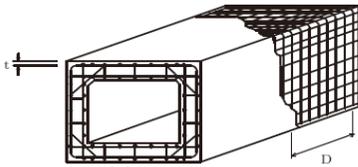
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通編	2 土工	3 河川土工	2		掘削工	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は掘削部の両端で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」(平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公第85号)の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は掘削部の両端で測定。		1-2-3-2	
						法長 $l$	$l < 5m$				-200
							$l \geq 5m$				法長-4%
1 共通編	2 土工	3 河川土工	3		盛土工	基準高▽	-50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は各法肩で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」(平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公第85号)の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は各法肩で測定。		1-2-3-3	
						法長 $l$	$l < 5m$				-100
							$l \geq 5m$				法長-2%
						幅 $w_1, w_2$					-100
1 共通編	2 土工	3 河川土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法)(多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高▽	-50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		1-2-3-4	
						厚 さ $t$	-50				
						控 え 長 さ	設計値以上				

単位: mm

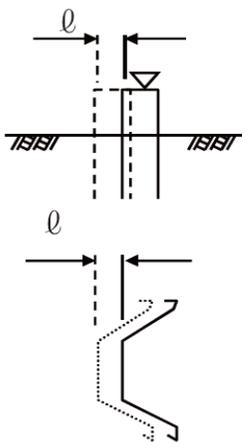
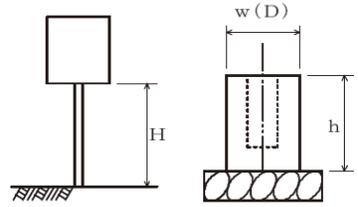
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	※-30	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		1-2-3-5	
1 共通編	2 土工	3 河川土工	6		堤防天端工	厚さt	t < 15cm	-25	幅は、施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは、施工延長20mにつき1ヶ所、20m以下は2ヶ所、中央で測定。		1-2-3-6
							t ≥ 15cm	-50			
						幅 w		-100			
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	基準高▽		±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」(平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公第85号)の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は、道路中心線及び端部で測定。		1-2-4-2
						法長ℓ	ℓ < 5m	-200			
							ℓ ≥ 5m	法長-4%			
						幅 w		-100			

出来形管理基準及び規格値

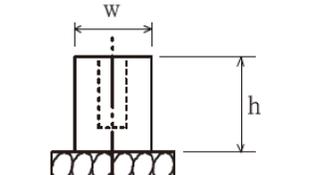
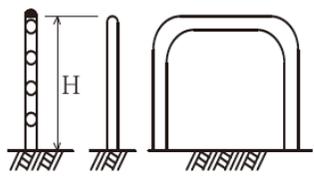
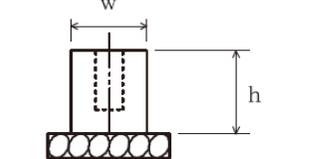
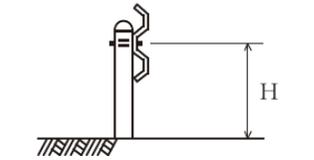
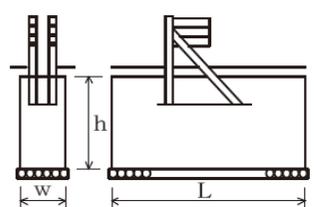
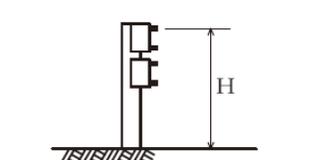
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」(平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公第85号)の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は、道路中心線及び端部で測定。		1-2-4-3 1-2-4-4	
						法長 $l$	$l < 5m$				-100
							$l \geq 5m$				法長-2%
						幅 $w_1, w_2$	-100				
1 共通編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工 (盛土部)	厚 さ $t$	※-30	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		1-2-4-5	

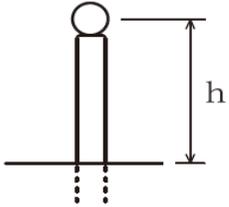
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 共通編	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4		組立て	平均間隔d	±φ	$d = \frac{D}{n-1}$		1-3-7-4
						かぶりt	±φかつ 最小かぶり 以上	D：n本間の延長 n：10本程度とする φ：鉄筋径		
								工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編：標準7編2章2.1）参照。ただし、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書（Ⅲコンクリート橋編6.6）による。  注1）重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。  注2）橋梁コンクリート床版桁（PC橋含む）の鉄筋については、第3編3-2-18-2床版工を適用する。  注3）新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。		

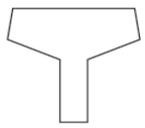
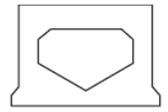
単位: mm

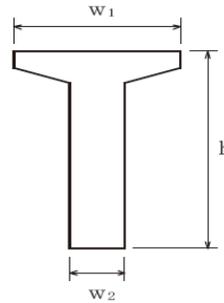
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕  (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	基準高は施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 変位は、施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-4	
						根 入 長	設計値以上				
						変 位 $l$	100				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	5		縁石工  (縁石・アスカープ)	延 長 $L$	-200	1ヶ所/1施工箇所		3-2-3-5	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	6		小型標識工	設 置 高 さ $H$	設計値以上	1ヶ所/1基		3-2-3-6	
						基礎	幅 $w(D)$	-30			基礎1基毎
							高 さ $h$	-30			
							根入れ長	設計値以上			

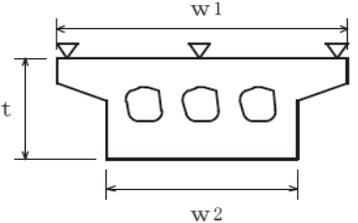
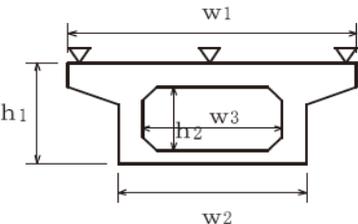
出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基礎	幅 w	-30	単独基礎10基につき1基、10基以下のものは2基測定。測定箇所は1基につき1ヶ所測定。	 	3-2-3-7
							高さ h	-30			
						パイプ取付高 H		+30 -20	1ヶ所/1施工箇所		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基礎	幅 w	-30	1ヶ所/施工延長20m 20m以下のものは、2ヶ所/1施工箇所。	 	3-2-3-8
							高さ h	-30			
						ビーム取付高 H		+30 -20	1ヶ所/1施工箇所		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	基礎	幅 w	-30	1ヶ所/1基礎毎	 	3-2-3-8
							高さ h	-30			
							延長 L	-100			
						ケーブル取付高 H		+30 -20	1ヶ所/1施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	9		区画線工	厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上	各線種毎に、1ヶ所テストピースにより測定。		3-2-3-9
						幅 w	設計値以上			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高 さ h	±30	1ヶ所/10本 10本以下の場合は、2ヶ所測定。		3-2-3-10
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	11		コンクリート面塗装工	塗料使用量	鋼道路橋防食便覧 II-82「表-II.5.5各塗料の標準使用量と標準膜厚」の標準使用量以上。	塗装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要量を求め、塗付作業の開始前に搬入量(充缶数)と、塗付作業終了時に使用量(空缶数)を確認し、各々必要量以上であることを確認する。 1ロットの大きさは500㎡とする。		3-2-3-11

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	1	プレテンション桁製作工 (購入工)  (けた橋)	桁長 L(m)	$\pm L/1000$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。	断面図 	3-2-3-12
						断面の外形寸法	$\pm 5$			
						橋桁のそり $\delta_1$	$\pm 8$			
						横方向の曲がり $\delta_2$	$\pm 10$			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	桁長 L(m)	$\pm 10 \dots$ $L \leq 10m$ $\pm L/1000 \dots$ $L > 10m$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。	断面図 	3-2-3-12
						断面の外形寸法	$\pm 5$			
						橋桁のそり $\delta_1$	$\pm 8$			
						横方向の曲がり $\delta_2$	$\pm 10$			

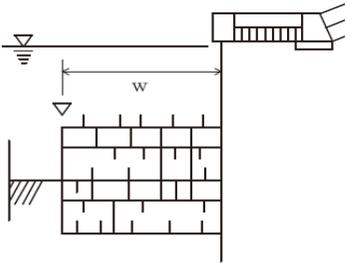
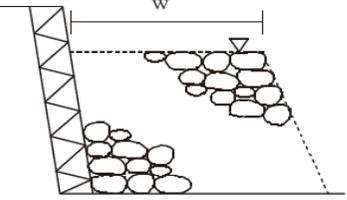
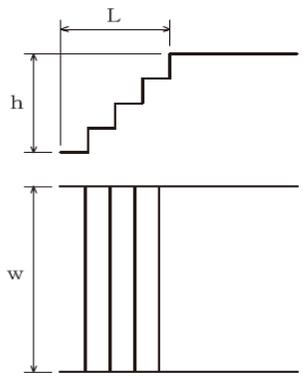
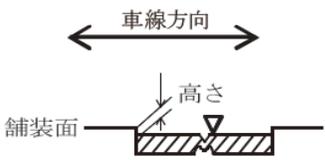
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	13	1	ポステンション桁製作工	幅(上)w <sub>1</sub>	+10 -5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレス ング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3ヶ所とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場 合は、製造工場の発行するJISに基づ く試験成績表に替えることができる。 ℓ: 支間長(m)		3-2-3-13 注)新設のコン クリート構造物(橋梁 上・下部工および 重要構造物である 空断面積25㎡以上 のボックスカルバ ート(工場製作のプレ キャスト製品は全て の工種において対 象外))の鉄筋の配 筋状況及びかぶり については、「非破 壊試験によるコン クリート構造物中 の配筋状態及びか ぶり測定要領」も併 せて適用する
						幅(下)w <sub>2</sub>	±5			
						高 さ h	+10 -5			
						桁 長 ℓ 支間長	ℓ < 15…±10 ℓ ≥ 15… ±(ℓ-5)かつ -30mm以内			
						横方向最大タワミ	0.8ℓ			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	13	2	プレキャストセグメント桁製 作工(購入工)	桁 長 ℓ	—	桁全数について測定。桁断面寸法測定 箇所は、図面の寸法表示箇所 で測定。		3-2-3-13
						断面の外形寸法(mm)	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	14		プレキャストセグメント主桁 組立工	桁 長 ℓ 支間長	ℓ < 15…±10 ℓ ≥ 15… ±(ℓ-5)かつ -30mm以内	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレス ング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3ヶ所とする ℓ: 支間長(m)		3-2-3-14
						横方向最大タワミ	0.8ℓ			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	15		PCホロースラブ製作工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 20$	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2ヶ所(支点付近)で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3ヶ所。 横方向たわみの測定は、プレストレスング後に測定。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 $l$ : 桁長(m)		3-2-3-15 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工程において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する
						幅 $w_1, w_2$	$-5 \sim +30$			
						厚 さ $t$	$-10 \sim +20$			
						桁 長 $l$	$l < 15 \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots$ $\pm (l-5)$ かつ $-30\text{mm}$ 以内			
						横方向最大タワミ	$0.8l$			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	16	1	PC箱桁製作工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 20$	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2ヶ所(支点付近)で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び高さは1径間当たり両端と中央部の3ヶ所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 $l$ : 桁長(m)		3-2-3-16 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工程において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する
						幅(上) $w_1$	$-5 \sim +30$			
						幅(下) $w_2$	$-5 \sim +30$			
						内 空 幅 $w_3$	$\pm 5$			
						高 さ $h_1$	$+10$ $-5$			
						内 空 高 さ $h_2$	$+10$ $-5$			
						桁 長 $l$	$l < 15 \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots$ $\pm (l-5)$ かつ $-30\text{mm}$ 以内			

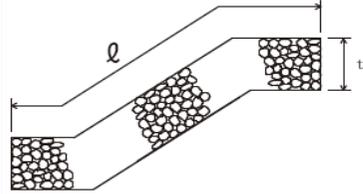
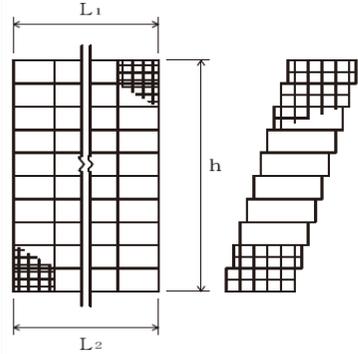
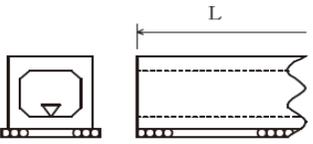
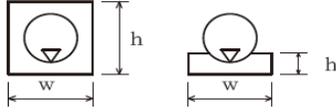
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3	2	3	16	2	PC押出し箱桁製作工	幅(上) $w_1$	-5~+30	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 $\ell$ : 桁長(m)		3-2-3-16 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工程において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する		
						幅(下) $w_2$	-5~+30					
						内空幅 $w_3$	±5					
						高 さ $h_1$	+10 -5					
						内空高さ $h_2$	+10 -5					
						桁 長 $\ell$	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内					
3	2	3	17		根固めブロック工	層積	基準高 $\nabla$	±100	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-17	
							厚さt	-20				幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。
							幅 $W_1, W_2$	-20				
							延長 $L_1, L_2$	-200				
						乱積	基準高 $\nabla$	$\pm t/2$	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。			
							厚さt	-20				幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。
							幅 $W_1, W_2$	$-t/2$				
							延長 $L_1, L_2$	$-t/2$				

出来形管理基準及び規格値

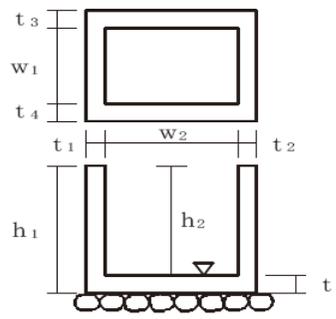
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	18		沈床工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 150$	1組毎		3-2-3-18
						幅 w	$\pm 300$			
						延 長 L	$-200$			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	19		捨石工	基 準 高 $\nabla$	$-100$	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-19
						幅 w	$-100$			
						延 長 L	$-200$			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	22		階段工	幅 w	$-30$	1回/1施工箇所		3-2-3-22
						高 さ h	$-30$			
						長 さ L	$-30$			
						段 数	$\pm 0$ 段			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	24	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据 付 け 高 さ	$\pm 3$	車道端部及び中央部付近の3点を測定。 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下		3-2-3-24
						表 面 の 凹 凸	3			
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し $0 \sim -2$			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	24	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョイント)	高さ	据付け高さ	±3	高さについては車道端部、中央部において車線方向に各3点計9点表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下歯咬み合い部は車道端部、中央部の計3点		3-2-3-24
							車線方向各点誤差の相対差	3			
							表面の凹凸	3			
							歯型板面の歯咬み合い部の高低差	2			
							歯咬み合い部の縦方向間隔W <sub>1</sub>	±2			
							歯咬み合い部の横方向間隔W <sub>2</sub>	±5			
							仕上げ高さ	舗装面に対し 0~-2			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	基準高▽	±500	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-26	
						法 長 ℓ	-200				
						延 長 L	-200				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	法 長 ℓ	-100	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-26	
						厚 さ t	-0.2t				
						延 長 L	-200				

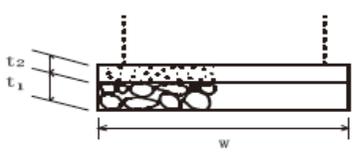
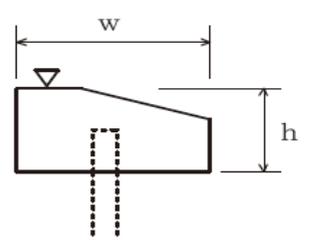
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 $l$	$l < 3m$	-50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-27
							$l \geq 3m$	-100			
						厚 さ $t$		-50			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	27	2	羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高 さ $h$	-100	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-27	
						延 長 $L_1, L_2$	-200				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 プ レ キ ャ ス ト カ ル バ ー ト 工	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長20mにつき1ヶ所、施工延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 逆向は認めない ※印は、現場打部分のある場合。		3-2-3-28	
						※幅 $w$	-50				
						※高 さ $h$	-30				
						延 長 $L$	-200	1施工箇所毎			

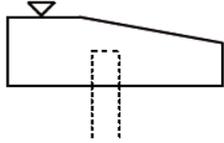
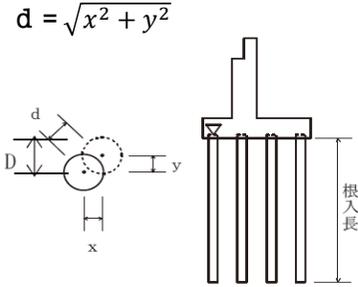
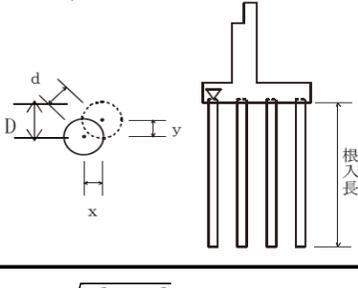
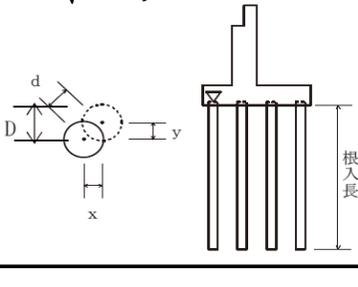
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	1	側溝工  (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管渠)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長20mにつき1ヶ所、施工延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。逆向は認めない		3-2-3-29	
						延 長 L	-200	1ヶ所/1施工箇所			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	2	側溝工  (場所打水路工)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長20mにつき1ヶ所、施工延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。逆向は認めない		3-2-3-29	
						厚 さ $t_1, t_2$	-20				
						幅 $w$	-30				
						高 さ $h_1, h_2$	-30				
						延 長 L	-200				1施工箇所毎
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	3	側溝工  (暗渠工)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長20mにつき1ヶ所。延長20m以下のものは1施工につき2ヶ所。逆向は認めない		3-2-3-29	
						幅 $w_1, w_2$	-50				
						深 さ $h$	-30				
						延 長 L	-200				1施工箇所毎

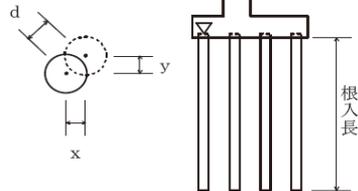
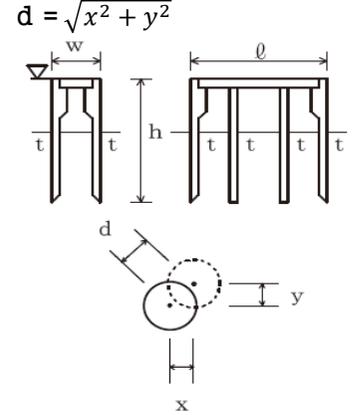
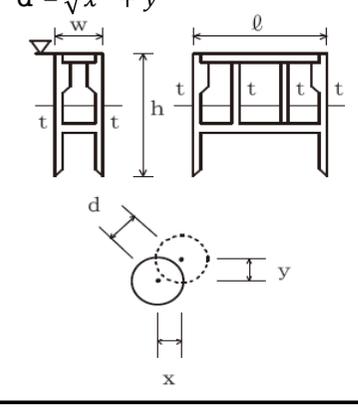
単位: mm

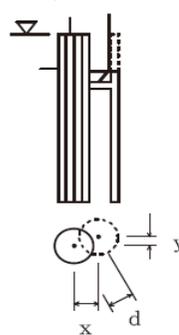
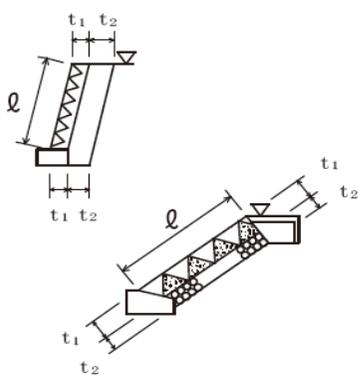
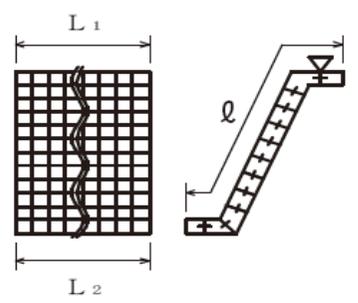
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	30		集水柵工	基 準 高 ▽	±30	1ヶ所毎 ※は、現場打部分のある場合		3-2-3-30
						※厚さ t1~t5	-20			
						※幅 w1, w2	-30			
						※高さ h1, h2	-30			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	31		現場塗装工	塗 膜 厚	<p>a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>	<p>塗装終了時に測定。</p> <p>1ロットの大きさは500m<sup>2</sup>とする。</p> <p>1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回い、その平均値をその点の測定値とする。ただし、1ロットの面積が200m<sup>2</sup>に満たない場合は10m<sup>2</sup>ごとに1点とする。</p>	3-2-3-31	

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	1		一般事項  (切込砂利) (碎石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-4-1
						厚さ t <sub>1</sub> , t <sub>2</sub>	-30			
						延 長 L	各構造物の規格値による			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	3	1	基礎工(護岸)  (現場打)	基準高▽	±30	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-4-3
						幅 w	-30			
						高 さ h	-30			
						延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	3	2	基礎工(護岸)  (プレキャスト)	基準高▽	±30	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-4-3
						延長L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	4	1	既製杭工  (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-4
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	D/4以内かつ100以内			
						傾 斜	1/100以内			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	4	2	既製杭工  (鋼管ソイルセメント杭)	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-4
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	100以内			
						傾 斜	1/100以内			
						杭 径 D	設計値以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	5		場所打杭工	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-5
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	100以内			
						傾 斜	1/100以内			
						杭 径 D	設計径(公称径) -30以上			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	6		深礎工	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-6
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	150以内			
						傾 斜	1/50以内			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	7		オープンケーソン基礎工	基準高▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-7
						ケーソンの長さℓ	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さh	-100			
						ケーソンの壁厚t	-20			
						偏心量 d	300以内			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	8		ニューマチックケーソン基礎工	基準高▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-8
						ケーソンの長さℓ	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さh	-100			
						ケーソンの壁厚t	-20			
						偏心量 d	300以内			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	9		鋼管矢板基礎工	基 準 高 ▽	±100	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-9	
						根 入 長	設計値以上				
						偏 心 量 d	300以内				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	5 石 ・ ブ ロ ッ ク 積 ( 張 )工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	基 準 高 ▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-2-5-3	
						法長ℓ	ℓ<3m				-50
							ℓ≥3m				-100
						厚さ(ブロック積張) t <sub>1</sub>	-50				
						厚さ(裏込)t <sub>2</sub>	-50				
						延 長 L	-200				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	5 石 ・ ブ ロ ッ ク 積 ( 張 )工	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	基 準 高 ▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-5-3	
						法 長 ℓ	-100				
						延長 L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub>	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブロッ ク積 (張)工	3	3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-5-3	
						幅 w	-100				
						延長 L	-200				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブロッ ク積 (張)工	4		緑化ブロック工	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-2-5-4	
						法長 l	l < 3m				-50
							l ≥ 3m				-100
						厚さ(ブロック) t1	-50				
						厚さ(裏込) t2	-50				
						延長 L	-200				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブロッ ク積 (張)工	5		石積(張)工	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-2-5-5	
						法長 l	l < 3m				-50
							l ≥ 3m				-100
						厚さ(石積・張) t1	-50				
						厚さ(裏込) t2	-50				
						延長 L	-200				

単位:mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	基準高は延長20m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線20m毎又は測点に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割に測定。		3-2-6-7
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは各車線20m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-7
						幅	-50			

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、20m毎とし、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床板等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-7
						幅	-50			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	幅は、延長100m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-7
						幅	-50			

単位:mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。  維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-7
						幅	-25			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-7
						幅	-25			
						平 坦 性	3m <sup>2</sup> プロファイル (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下			

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	基準高は延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線20m毎又は測点毎に1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長40m毎に1ヶ所の割に測定。		3-2-6-8
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線20m毎又は測点毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-8
						幅	-50			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工)  セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは20m毎又は測点毎とし、1000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。  維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-8
						幅	-50			
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-8
						幅	-50			
3	2	6	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-8
						幅	-25			
3	2	6	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-8
						幅	-25			
						平 坦 性	3mプロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	基準高は延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線20m毎又は測点毎に1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割に測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-9
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線20m毎又は測点毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-9
						幅	-50			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは20m毎又は測点毎とし、1000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。		3-2-6-9
						幅	-50			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。  維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-9
						幅	-50			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	5	排水性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-9
						幅	-25			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-9
						幅	-25			
						平 坦 性	3m <sup>2</sup> プロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値				
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工 (路盤工)	基準高▽	±50		基準高は片側延長20m毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、片側延長20m毎に1ヶ所掘り起こして測定。 幅は、片側延長100m毎又は測点毎に1ヶ所測定。 ※両端部2点で測定する。 ※歩道舗装に適用する。		3-2-6-10
						厚 さ	t < 15cm	-25			
							t ≥ 15cm	-45			
						幅	-100				
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ	-7		幅は、片側延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、片側1000㎡毎に1ヶ所コアを採取して測定。 ※歩道舗装に適用する。		3-2-6-10
						幅	-25				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3	2	6	11	1	グースアスファルト 舗装工  (加熱アスファルト安定処 理工)	厚 さ	-15	幅は、延長100m毎に1ヶ所の割とし、厚 さは、1000㎡に1個の割でコアーを採取し て測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等 に損傷を与える恐れのある場合は、他の 方法によることが出来る。  維持工事においては、平坦性の項目を 省略することが出来る。	3-2-6-11
						幅	-50			
3	2	6	11	2	グースアスファルト 舗装工  (基層工)	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所 の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコ アーを採取して測定。		3-2-6-11
						幅	-25			
3	2	6	11	3	グースアスファルト 舗装工  (表層工)	厚 さ	-7	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所 の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割で コアーを採取して測定。		3-2-6-11
						幅	-25			
						平 坦 性	3mプロフィールメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	基準高は延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線20m毎又は測点毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割に測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線20m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-12
						幅	-50			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	厚 さ	-25	幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、20m毎に1箇所の割とし、1,000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12
						幅	-50			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-12
						幅	-25			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚 さ	-10	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線100m毎又は測点毎に水系又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上測定、幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。		3-2-6-12
						幅	-25			
						平 坦 性	コンクリートの硬化後 3mプロフィールメーターにより (σ)2.4mm以下			
						目地段差	±2			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	基準高▽	±40	基準高は、延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割に測定。		3-2-6-12
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線20m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-12
						幅	-50			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定 処理工	厚 さ	-25	幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の 割とし、厚さは、20m毎とし、1,000㎡に1 個の割でコアを採取もしくは、掘り起こ して測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等 に損傷を与える恐れのある場合は、他の 方法によることが出来る。  維持工事においては、平坦性の項目を 省略することが出来る。	3-2-6-12
						幅	-50			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所 の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコ アを採取して測定。		3-2-6-12
						幅	-25			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚 さ	-15	厚さは、各車線の中心付近で型枠据付 後各車線40m毎又は測点毎に水糸又は レベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ 所以上測定、幅は、延長40m毎又は測点 毎に1ヶ所の割で測定、平坦性は各車線 毎に版縁から1mの線上、全延長とする。		3-2-6-12
						幅	-35			
						平 坦 性	転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィール メーターにより(σ)2.4mm以下。			
						目地段差	±2			

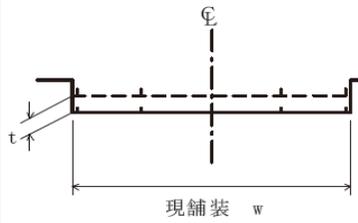
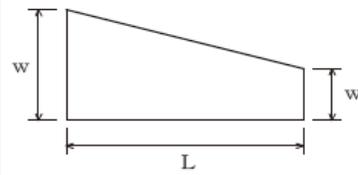
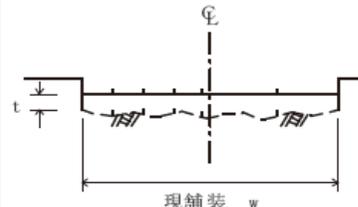
単位:mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	基準高は、延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線20m毎又は測点毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割に測定。		3-2-6-13
						厚 さ	-45			
						幅	-50			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線20m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-13
						幅	-50			

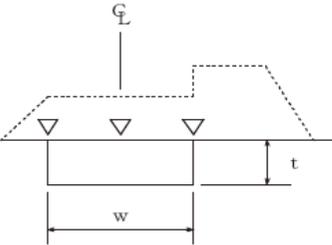
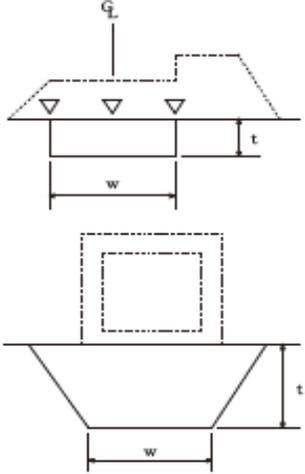
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理 工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X/10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。  コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-13
						幅	-50			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)	厚 さ	-15	幅は、延長100m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-13
						幅	-50			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-13
						幅	-25			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	基準高は、延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎又は測点毎に1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割に測定。		3-2-6-14
						厚さ	-45			
						幅	-50			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚  さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線20m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-14
						幅	-50			

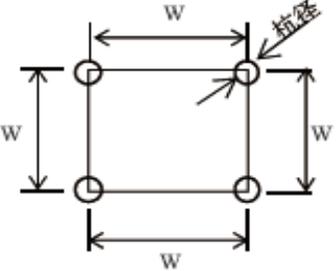
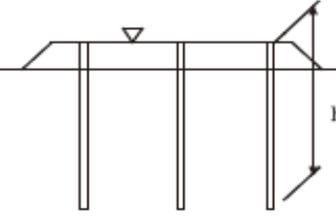
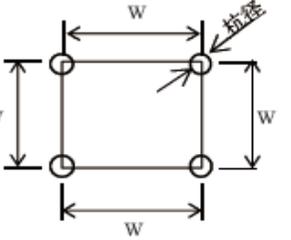
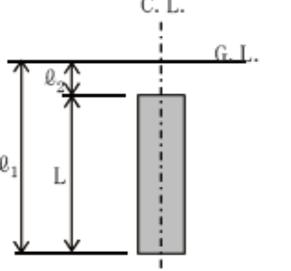
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理 工	厚 さ	-25	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは20m毎に1箇所の割とし、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-14
						幅	-50			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)	厚 さ	-15	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-14
						幅	-50			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	幅は、延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-14
						幅	-25			

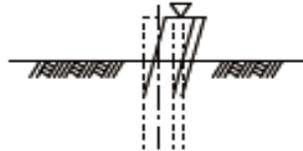
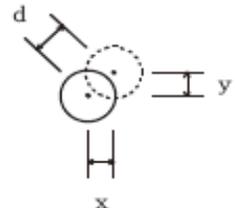
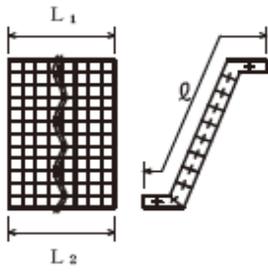
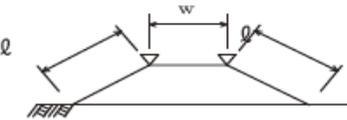
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X <sub>10</sub> )				
3	2	6	15		路面切削工	厚 さ t	-7	-2	厚さは20m毎又は測点毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長20m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		3-2-6-15	
						幅 w	-25	-				
3	2	6	16		舗装打換え工	路盤工	幅 w	-50		各層毎1ヶ所/1施工箇所		3-2-6-16
							延長L	-100				
							厚さt	該当工種				
						舗設工	幅 w	-25				
							延長L	-100				
							厚さt	該当工種				
3	2	6	17		オーバーレイ工	厚 さ t	-9		厚さは20m毎又は測点毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、延長20m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		3-2-6-17	
						幅 w	-25					
						延 長 L	-100					
						平 坦 性	-	3m <sup>2</sup> プロファイルメーター (σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下				

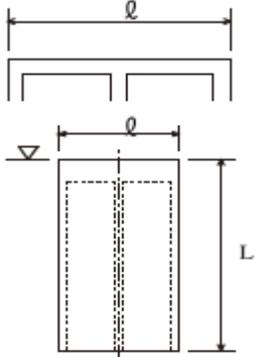
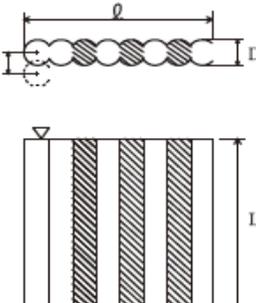
維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	2		路床安定処理工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	延長40m毎又は測点毎に1ヶ所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。		3-2-7-2
						施 工 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	3		置換工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは中心線及び端部で測定。		3-2-7-3
						置 換 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			

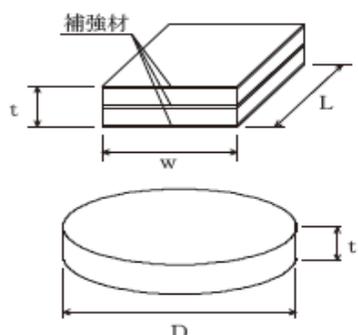
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	4		表層安定処理工 (サンドマット海上)	基 準 高 $\nabla$	特記仕様書に明示	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。  w. (L)は施工延長40mにつき1ヶ所、80m以下のものは1施工箇所につき3箇所。 (L)はセンターライン及び表裏法肩で行う。		3-2-7-4
						法 長 $l$	-500			
						天 端 幅 $w$	-300			
						天端延長 $L$	-500			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	5		パイルネット工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長40m毎又は測点毎につき1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		3-2-7-5
						厚 さ $t$	-50			
						幅 $w$	-100			
						延 長 $L$	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	6		サンドマット工	施 工 厚 さ $t$	-50	施工延長20mにつき1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		3-2-7-6
						幅 $w$	-100			
						延 長 $L$	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	7		パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工)	位置・間隔w	±100	100本に1ヶ所。 100本以下は2ヶ所測定。1ヶ所に4本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。		3-2-7-7 3-2-7-8
						杭 径 D	設計値以上			
			打 込 長 さ h		設計値以上	全本数				
			8		締め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	サンドドレーン、袋詰式サンドドレーン、サンドコンパクションパイルの砂投入量	—	全本数 計器管理にかえることができる。		
										
								※余長は、適用除外		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9		固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	基 準 高 ▽	-50	100本に1ヶ所。 100本以下は2ヶ所測定。 1ヶ所に4本測定。		3-2-7-9
						位置・間隔w	D/4以内			
						杭 径 D	設計値以上			
						深 度 L	設計値以上	全本数		
										

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 100$	基準高は施工延長20mつき1ヶ所。延長20m以下のものは、1施工箇所につき2ヶ所。(任意仮説は除く) 変位は施工延長20mにつき1箇所。延長20m以下の者は1施工箇所につき2箇所		3-2-10-5
						根 入 長	設計値以上			
						変 位 $l$	100			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削 孔 深 さ $l$	設計深さ以上	全数		3-2-10-5
						配 置 誤 差 $d$	100			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法 長 $l$	-100	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-10-5
						延 長 $L_1 L_2$	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 $\nabla$	-50	施工延長20mにつき1ヶ所。 延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。(任意仮説は除く)		3-2-10-5
						天 端 幅 $w$	-100			
						法 長 $l$	-100			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3	2	10	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	基準高▽	-50	施工延長20mにつき1ヶ所。 延長20m以下のものは、1施工箇所につ き2ヶ所。(任意仮設を除く)		3-2-10-5
3	2	10	9	地中連続壁工(壁式)	基準高▽	±50	基準高は施工延長40m(測点間隔25m の場合は50m)につき1ヶ所。延長40m (又は50m)以下のものについては1施工 箇所につき2ヶ所。 変位は施工延長20m(測点間隔25mの 場合は25m)につき1ヶ所。延長20m(又 は25m)以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		3-2-10-9	
					連壁の長さ l	-50				
					変 位	300				
					壁 体 長 L	-200				
3	2	10	10	地中連続壁工(柱列式)	基準高▽	±50	基準高は施工延長40m(測点間隔25m の場合は50m)につき1ヶ所。延長40m (又は50m)以下のものについては1施工 箇所につき2ヶ所。 変位は施工延長20m(測点間隔25mの 場合は25m)につき1ヶ所。延長20m(又 は25m)以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		3-2-10-9 D: 杭径	
					連壁の長さ l	-50				
					変 位 d	D/4以内				
					壁 体 長 L	-200				

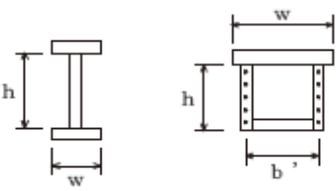
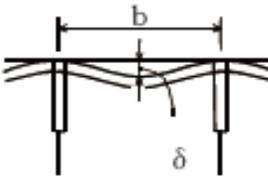
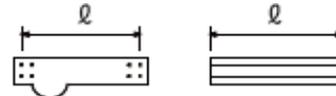
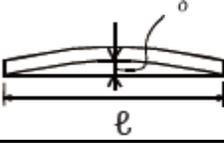
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要			
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	1	1	鑄造費(金属支承工)	上下部鋼構造物との接合用ボルト孔	孔の直径差	+2 -0	製品全数を測定。		3-2-12-1		
							中心距離	センターボスを基準にした孔位置のずれ					
								≦1000mm				1以下	
								センターボスを基準にした孔位置のずれ					
								>1000mm				1.5以下	
							アンカーボルト用孔(鑄放し)	孔の直径				≦100mm	+3 -1
								>100mm				+4 -2	
							孔の中心距離					JIS B 0403 CT13	
							センターボス	ボスの直径				+0 -1	
								ボスの高さ				+1 -0	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工 共 通	1	1	鑄造費(金属支承工)	上沓の橋軸及び直角方向の長さ寸法	JIS B 0403 CT13	製品全数を測定。 ※1)片面削り加工も含む。 ※2)ただし、ソールプレート接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。		3-2-12-1		
						全移動量 $\varnothing$	$\varnothing \leq 300\text{mm}$				$\pm 2$	
							$\varnothing > 300\text{mm}$				$\pm \varnothing / 100$	
						組立高さ H	上,下面加工仕上げ				$\pm 3$	
							コンクリート構造用				$H \leq 300\text{mm}$	$\pm 3$
											$H > 300\text{mm}$	( $H / 200 + 3$ )小数点以下切り捨て
						普通寸法	鑄放し長さ寸法 ※1)、※2)				JIS B 0403 CT14	
							鑄放し肉厚寸法 ※1)				JIS B 0403 CT15	
							削り加工寸法				JIS B 0405 粗級	
							ガス切断寸法				JIS B 0417 B級	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工 共 通	1	2	鑄造費(大型ゴム支承工)	幅 w 長さ L 直径 D	$w, L, D \leq 500$	0 ~ +5	製品全数を測定。 平面度: 1個のゴム支承の厚さ(t)の最大相対誤差		3-2-12-1	
							$500 < w, L, D \leq 1500\text{mm}$	0 ~ +1%				
							$1500 < w, L, D$	0 ~ +15				
						厚さ t	$t \leq 20\text{mm}$	$\pm 0.5$				
							$20 < t \leq 160$	$\pm 2.5\%$				
							$160 < t$	$\pm 4$				
							平面度	1				

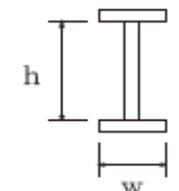
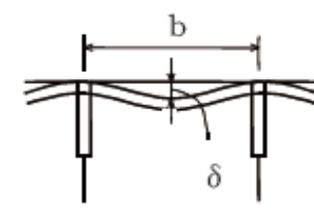
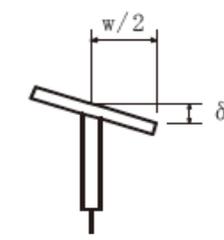
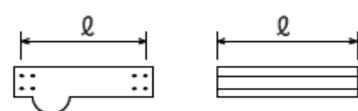
単位:mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	1	3	仮設材製作工	部	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-1
						材					
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ	$\pm 2 \cdots h \leq 0.5$ $\pm 3 \cdots 0.5 < h \leq 1.0$ $\pm 4 \cdots 1.0 < h \leq 2.0$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-1	
						外周長 $L$ (m)					$\pm(10+L/10)$

出来形管理基準及び規格値

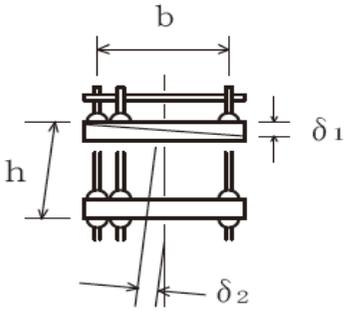
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要					
								鋼桁等	トラス・アーチ等							
3	2	12	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合)  (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	フランジ幅w(m)  腹板高h(m) 腹板間隔b'(m)	±2…… $w \leq 0.5$	主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。	 I型鋼桁      トラス弦材	3-2-12-3						
							±3…… $0.5 < w \leq 1.0$									
							±4…… $1.0 < w \leq 2.0$									
							±(3+w/2)…… $2.0 < w$									
							部 材 精 度				板 の 平 面 度 δ (mm)	鋼桁及びトラス等の部材の腹板	$h/250$	主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。  h: 腹板高(mm) b: 腹板又はリブの間隔(mm) w: フランジ幅(mm)		3-2-12-3
												箱桁及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート	$b/150$			
												フランジの直角度 δ (mm)	$w/200$			
部 材 長 ℓ (m)	鋼桁	±3… ℓ ≤ 10 ±4… ℓ > 10	原則として仮組立をしない状態の部材について、主要部材全数を測定。		3-2-12-3											
	トラス、アーチなど	±2… ℓ ≤ 10 ±3… ℓ > 10														
		圧縮材の曲がり δ (mm)	$ℓ/1000$	—	主要部材全数を測定。  ℓ: 部材長(mm)		3-2-12-3									
※規格値のwに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度δ、フランジの直角度δ、圧縮材の曲りδ」の規格値のh、b、wに代入する数値はmm単位の数値とする。																

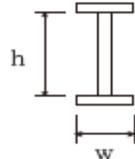
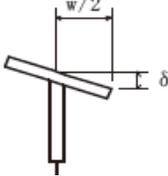
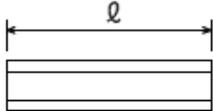
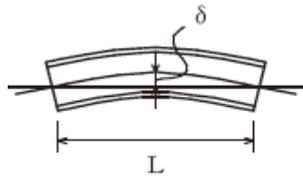
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要	
								鋼桁等	トラス・アーチ等			
3	2	12	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合)  (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	仮組立精度	全長 L(m) 支間長 Ln(m)	$\pm(10+L/10)$ $\pm(10+Ln/10)$	各桁毎に全数測定。		3-2-12-3	
							主桁、主構の中心間距離 B(m)	$\pm 4 \cdots B \leq 2$ $\pm(3+B/2)$ $\cdots B > 2$	各支点及び各支間中央付近を測定。		3-2-12-3	
							主構の組立高さ h(m)	$\pm 5 \cdots h \leq 5$ $\pm(2.5+h/2)$ $\cdots h > 5$	—	両端部及び中心部を測定。		3-2-12-3
							主桁、主構の通り $\delta$ (mm)	$5+L/5 \cdots L \leq 100$ 25 $\cdots L > 100$	最も外側の主桁又は主構について支点及び支間中央の1点を測定。 L: 測線上(m)		3-2-12-3	
							主桁、主構のそり $\delta$ (mm)	$-5 \sim +5 \cdots L \leq 20$ $-5 \sim +10 \cdots 20 < L \leq 40$ $-5 \sim +15 \cdots 40 < L \leq 80$ $-5 \sim +25 \cdots 80 < L \leq 200$	各主桁について10~12m間隔を測定。 L: 主桁の支間長(m)	各主構の各格点を測定。 L: 主構の支間長(m)		3-2-12-3
							主桁、主構の橋端における出入差 $\delta$ (mm)	設計値 $\pm 10$	どちらか一方の主桁(主構)端を測定。		3-2-12-3	
							主桁、主構の鉛直度 $\delta$ (mm)	$3+h/1000$	各主桁の両端部を測定。 h: 主桁の高さ(mm)	支点及び支間中央付近を測定。 h: 主構の高さ(mm)		3-2-12-3
							現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	設計値 $\pm 5$	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 $\delta 1, \delta 2$ のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合、マイナス側については設計値以上とする。		3-2-12-3	
<p>※規格値のL, B, hに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主桁、主構の鉛直度<math>\delta</math>」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>												

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要			
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	フランジ幅 w(m)	±2…… w ≤ 0.5	主桁、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。	 <p>I型鋼桁</p>	3-2-12-3			
						腹板高 h(m)	±3…… 5 < w ≤ 1.0						
						腹板間隔 b'(m)	±4…… 1.0 < w ≤ 2.0 ±(3+w/2)…… 2.0 < w						
						板の平面度 δ (mm)	鋼桁等の部材の腹板				h/250	主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h: 腹板高(mm) b: 腹板又はリブの間隔(mm) w: フランジ幅(mm)	
							箱桁等及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート				b/150		
フランジの直角度 δ (mm)	w/200												
部材長 ℓ (m)	鋼桁	±3…ℓ ≤ 10 ±4…ℓ > 10	主要部材全数を測定。										
<p>※規格値のwに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度 δ、フランジの直角度 δ」の規格値のh、b、wに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>													

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	3	3	桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮組立時))	部材の水平度	10	全数を測定。	<p>図a 格子形鋼製砂防ダム 図b 鋼製スリットダムA型 図c 鋼製スリットダムB型 図d 鋼製L型スリットダム</p>	3-2-12-3		
						堤 長 L	±30					
						堤 長 $l$	±10					
						堤 幅 W	±30					
						堤 幅 w	±10					
						高 さ H	±10					
						ベースプレートの高さ	±10					
						本体の傾き	±H/500					
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 製作工共通	4		検査路製作工	部材	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。	3-2-12-4		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	5		鋼製伸縮継手製作工	部材	部材長 $w$ (m)	0~+30	製品全数を測定。	<p>(実測値) <math>\delta_2</math></p>	3-2-12-5	
						仮組立時	組合せる伸縮装置との高さの差 $\delta_1$ (mm)	設 計 値 ±4				両端及び中央部付近を測定。
							フィンガーの食い違い $\delta_2$ (mm)	±2				

単位:mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	6		落橋防止装置製作工	部材	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-6
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	7		橋梁用防護柵製作工	部材	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-7
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	8		アンカーフレーム製作工	仮組立時	上面水平度 $\delta 1$ (mm)	$b/500$	軸心上全数測定。		3-2-12-8
							鉛 直 度 $\delta 2$ (mm)	$h/500$			
							高さ $h$ (mm)	$\pm 5$			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	9		プレビーム用桁製作工	部材	フランジ幅 w(m) 腹板高 h(m)	$\pm 2 \dots \dots$ $w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots \dots$ $0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \dots \dots$ $1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \dots$ $2.0 < w$	各支点及び各支間中央付近を測定。	 I 型鋼桁	3-2-12-9
							フランジの直角度 $\delta$ (mm)	$w/200$	各支点及び各支間中央付近を測定。		3-2-12-9
							部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。		3-2-12-9
							仮組立時 主桁のそり $\delta$	$-5 \sim +5$ $\dots L \leq 20$ $-5 \sim +10$ $\dots 20 < L \leq 40$	各主桁について10~12m間隔を測定。		3-2-12-9
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工共通	10		鋼製排水管製作工	部材	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	図面の寸法表示箇所を測定。		3-2-12-10

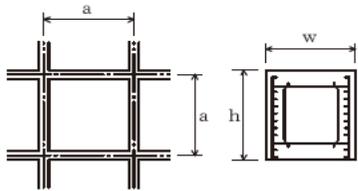
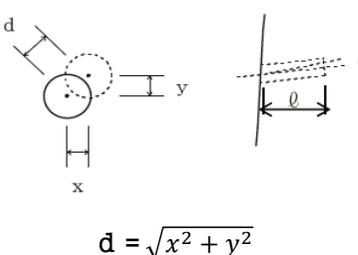
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3	2	12	11		工場塗装工	塗 膜 厚	<p>a. ロット塗膜厚の平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>	<p>外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗付後と上塗り終了時に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。</p> <p>1ロットの大きさは、500m<sup>2</sup>とする。</p> <p>1ロット当たり測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。ただし、1ロットの面積が200m<sup>2</sup>に満たない場合は10m<sup>2</sup>ごとに1点とする。</p>		3-2-12-11

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3	土木工事共通編	2	13		架設工(鋼橋) (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送し架設) (トラベラークレーン架設)	全長L(m) 支間長L <sub>n</sub> (m)	$\pm(20+L/5)$ $\pm(20+L_n/5)$	各桁毎に全数測定。		3-2-13
						通 り δ (mm)	$\pm(10+2L/5)$	L: 主桁・主構の支間長(m)		
						そ り δ (mm)	$\pm(25+L/2)$	主桁、主構を全数測定。 L: 主桁・主構の支間長(m)		
						※主桁、主構の中心間 距離B(m)	$\pm 4 \dots \dots B \leq 2$ $\pm(3+B/2) \dots$ $B > 2$	各支点及び各支間中央付近を測定。		
						※主桁の橋端における 出入差 δ (mm)	設計値 ±10	どちらか一方の主桁(主構)端を測定。		
						※主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	$3+h/1000$	各主桁の両端部を測定。h: 主桁・主構の 高さ(mm)		
						※現場継手部のすき間 δ <sub>1</sub> , δ <sub>2</sub> (mm)	設計値 ±5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 δ <sub>1</sub> , δ <sub>2</sub> のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合、マイナス側 については設計値以上とする。		
								※は仮組立検査を実施しない工事に適用。		
<p>※規格値のL, Bに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>										

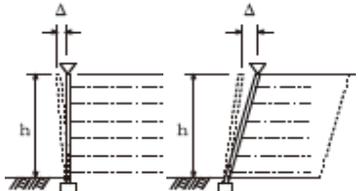
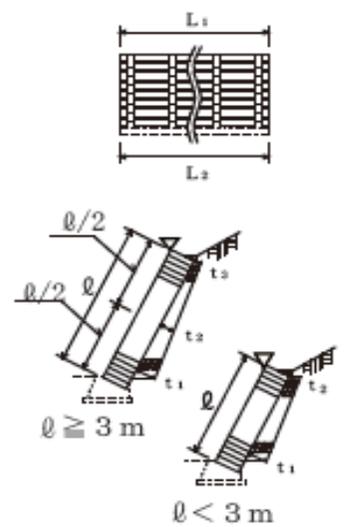
単位:mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要							
3 土木工事共通編	2 一般施工	13 橋梁架設工			架設工(コンクリート橋)  (クレーン架設) (架設桁架設)  架設工支保工 (固定) (移動)  架設桁架設 (片持架設) (押し架設)	全長・支間	—	各桁毎に全数測定。		3-2-13							
						桁の中心間距離	—	一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。									
						そり	—	主桁を全数測定。									
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工共通	2	1	植生工  (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	切土法長 $l$	$l < 5m$	-200	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	3-2-14-2							
							$l \geq 5m$	法長の-4%									
						盛土法長 $l$	$l < 5m$	-100									
							$l \geq 5m$	法長の-2%									
						延長 L	-200	1施工箇所毎									
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工共通	2	2	植生工  (植生基材吹付工) (客土吹付工)	法長 $l$	$l < 5m$	-200	施工延長20mにつき1ヶ所、20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	3-2-14-2							
							$l \geq 5m$	法長の-4%									
						厚さ $t$	$t < 5cm$	-10			施工面積200㎡につき1ヶ所、面積200㎡以下のものは、1施工箇所につき2ヶ所。検査孔により測定。						
							$t \geq 5cm$	-20									
						ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。											
						延長 L	-200	1施工箇所毎									

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	法長 ℓ	ℓ < 3m	-50	施工延長20mにつき1ヶ所、20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。		3-2-14-3
							ℓ ≥ 3m	-100			
						厚さ t	t < 5cm	-10	200㎡につき1ヶ所以上、200㎡以下は2ヶ所をせん孔により測定。		
							t ≥ 5cm	-20			
						ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上					

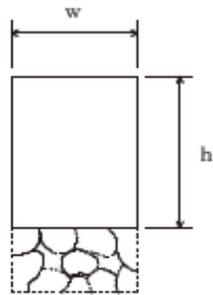
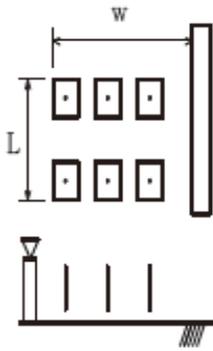
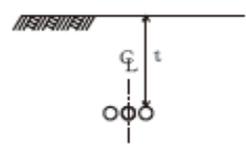
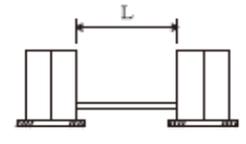
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	4	1	法 枠 工  (現場打 法 枠 工) (現場吹 付 法 枠 工)	法 長 $\ell$	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下 のものは1施工箇所につき2ヶ所。  枠延長20mにつき1ヶ所、枠延長20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-14-4 曲線部は設計 図書による
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200			
						幅	w	-30			
						高  さ	h	-30			
						枠中心間隔	a	$\pm 100$			
延 長	L	-200	1施工箇所毎								
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 共 通	4	2	法 枠 工  (プレキャスト 法 枠 工)	法 長 $\ell$	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下 のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-14-4
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200			
						延 長	L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	6		ア ン カ ー 工	削孔深さ	$\ell$	設計値以上	全数		3-2-14-6
						配置誤差	d	100			
						せん孔方向	$\theta$	$\pm 2.5$ 度			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工共通	1		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-1	
						厚 さ t	-20				
						裏 込 厚 さ	-50				
						幅 w1, w2	-30				
						高 さ h	h < 3m				-50
							h ≥ 3m				-100
						延 長 L	-200				1施工箇所毎
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工共通	2		プレキャスト擁壁工	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-2	
						延 長 L	-200				1施工箇所毎

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 共 通 的 工 程	15 擁 壁 工 共 通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-3	
						高  さ $h$	$h < 3m$				-50
							$h \geq 3m$				-100
						鉛 直 度 $\Delta$	$\pm 0.03h$ かつ $\pm 300$ 以内				
						控 え 長 さ	設計値以上				
						延 長 $L$	-200				1施工箇所毎
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	15 擁 壁 工 共 通	4		井桁ブロック工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-4	
						法 長 $l$	$l < 3m$				-50
							$l \geq 3m$				-100
						厚  さ $t_1, t_2, t_3$	-50				
						延 長 $L_1, L_2$	-200				1施工箇所毎

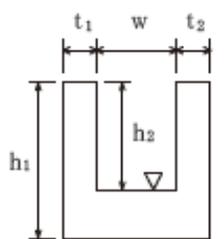
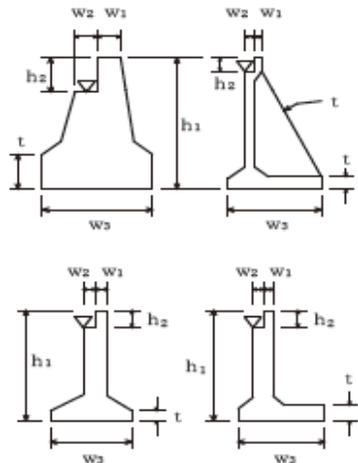
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	16 浚 渫 工 共 通	3	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)	基準高▽	電気船	200ps	-800~+200	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		3-2-16-3
								500ps	-1000~+200			
								1000ps	-1200~+200			
							ディーゼル船	250ps	-800~+200			
								420ps 600ps	-1000~+200			
								1350ps	-1200~+200			
							幅		-200			
							延長		-200			
							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	16 浚 渫 工 共 通			
幅		-200										
延長		-200										

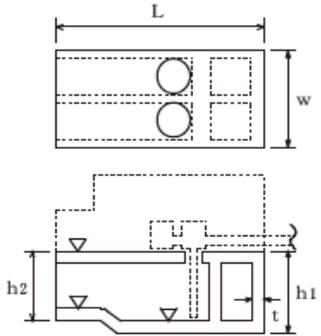
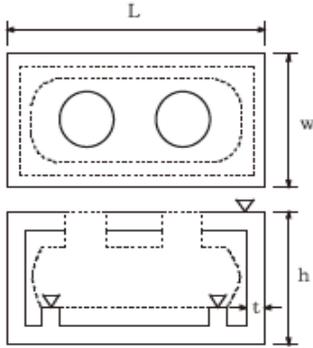
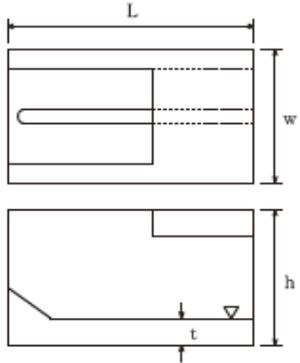
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	18 床 版 工	2		床版工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 20$	基準高は、1径間当たり2ヶ所(支点付近)で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3ヶ所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に1ヶ所測定。(床版の厚さは、型枠検査をもって代える。)		3-2-18-2
						幅 w	0~+30			
						厚 さ t	-10~+20			
						鉄筋のかぶり	設計値以上	1径間当たり3断面(両端及び中央)測定。1断面の測定箇所は断面変化毎1ヶ所とする。		
						鉄筋の有効高さ	$\pm 10$			
						鉄 筋 間 隔	$\pm 20$	1径間当たり3ヶ所(両端及び中央)測定。 1ヶ所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状に2mの範囲を測定。		
上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	$\pm 10$									

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	1 築堤護岸工	7 法覆護岸工	4		護岸付属物工	幅 w	-30	各格子間の中央部1箇所を測定		6-1-7-4
						高 さ h	-30			
6 河川編	1 築堤・護岸	10 水制工	8		杭出し水制工	基 準 高 ▽	±50	1組毎		6-1-10-8
						幅 w	±300			
						方 向	±7°			
						延 長 L	-200			
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	3		配管工	埋 設 深 t	0~+50	接続部(地上機器部)間毎に1ヶ所。		6-1-13-3
						延 長 L	-200			
										

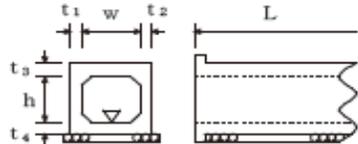
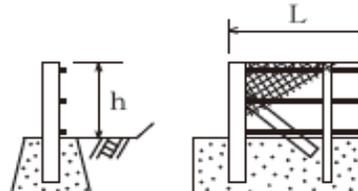
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	基準高▽	±30	1ヶ所毎 ※は現場打部分のある場合		6-1-13-4
						※厚さ t1~t5	-20			
						※幅 w1,w2	-30			
						※高さ h1,h2	-30			
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	1	函渠工 (本体工)	基準高▽	±30	柔構造樋門の場合は埋戻前(載荷前)に測定する。		6-3-5-6
						厚さ t1~t8	-20	函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。		
						幅 w1, w2	-30	門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて測定。		
						内空幅 w3	-30	プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。		
						内空高 h1	±30			
						延長 L	-200			
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高▽	±30	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 逆向は認めない		6-3-5-6
						延長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本體工	7 8		翼壁工 水叩工	基準高▽	±30	図面の寸法表示箇所 で測定。		6-3-5-7 6-3-5-8
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	4 水門	6 水門 本體工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	基準高▽	±30	図面の寸法表示箇所 で測定。		6-4-6-7 6-4-6-8 6-4-6-9 6-4-6-10 6-4-6-11
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	5 堰	6 可動堰 本體工	13 14		閘門工 土砂吐工	基準高▽	±30	図面の寸法表示箇所 で測定。		6-5-6-13 6-5-6-14
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	5 堰	7 固定堰 本體工	8 9 10		堰本體工 水叩工 土砂吐工	基準高▽	±30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、 施工継手箇所及び構造図の寸法表示 箇所 で測定。		6-5-7-8 6-5-7-9 6-5-7-10
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						堰長 L	L < 20m			
L ≥ 20m	-100									

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		6-5-8-3
						厚さ $t_1, t_2$	-20			
						幅 $w$	-30			
						高さ $h_1, h_2$	-30			
						延長 $L$	-200			
6 河川編	5 堰	9 管理橋下部工	2		管理橋橋台工	基準高 $\nabla$	$\pm 20$	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所で測定。		6-5-9-2
						厚 さ $t$	-20			
						天 端 幅 $w_1$ (橋軸方向)	-10			
						天 端 幅 $w_2$ (橋軸方向)	-10			
						敷 幅 $w_3$ (橋軸方向)	-50			
						高 さ $h_1$	-50			
						胸壁の高さ $h_2$	-30			
						天 端 長 $l_1$	-50			
						敷 長 $l_2$	-50			
						胸壁間距離 $l$	$\pm 30$			
						支 点 長 及 び 中心線の変化	$\pm 50$			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	6 排水機場	4 機場本 体工	6		本 体工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所 で測定。		6-6-4-6
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub>	$\pm 30$			
						延 長 L	-50			
6 河川編	6 排水機場	4 機場本 体工	7		燃 料貯油槽工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所 で測定。		6-6-4-7
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	$\pm 30$			
						延 長 L	-50			
6 河川編	6 排水機場	5 沈砂池工	7		コ ンクリート床版工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所 で測定。		6-6-5-7
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	$\pm 30$			
						延 長 L	-50			

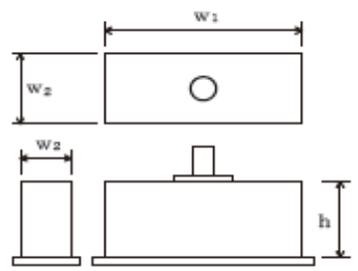
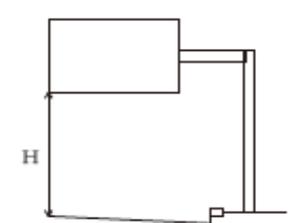
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6		本體工 (床固め本體工)	基準高▽	±30	図面に表示してある箇所にて測定。		6-7-4-6
						天端幅 w1, w3	-30			
						堤幅 w2	-30			
						堤長 L1, L2	-100			
						水通し幅 Ø1, Ø2	±50			
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8		水叩工	基準高▽	±30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点にて測定。		6-7-4-8
						厚さ t	-30			
						幅 w	-100			
						延長 L	-100			
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6		側壁工	基準高▽	±30	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎にて測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		6-7-5-6
						天端幅 w1	-30			
						堤幅 w2	-30			
						長さ L	-100			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2		遮音壁支柱製作工	部材	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		10-1-3-2	
10 道路編	1 道路改良	9 カルバート工	6		場所打函渠工	基準高 $\nabla$		$\pm 30$	両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所にて測定。 逆向は認めない		10-1-9-6	
						厚さ $t_1 \sim t_4$		-20				
						幅(内法) $w$		-30				
						高 さ $h$		$\pm 30$				
						延長 $L$	$L < 20m$					-50
							$L \geq 20m$					-100
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	4		落石防止網工	幅 $w$		-200	1施工箇所毎		10-1-11-4	
						延 長 $L$		-200				
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	5		落石防護柵工	高 さ $h$		$\pm 30$	施工延長20mにつき1ヶ所、施工延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-1-11-5	
						延 長 $L$		-200				
									1施工箇所毎			

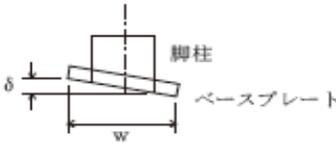
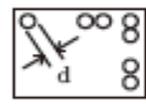
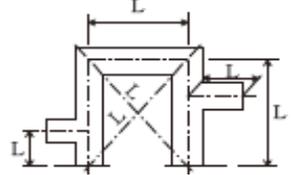
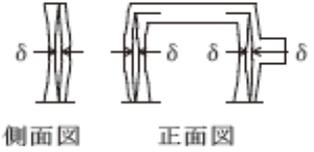
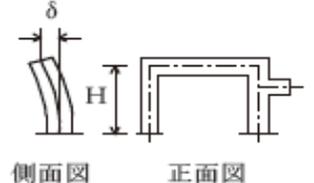
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	6		防雪柵工	高 さ h	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-1-11-6	
						延 長 L	-200	1施工箇所毎			
						基礎	幅 w1, w2	-30			基礎1基毎
							高 さ h	-30			
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	7		雪崩予防柵工	高 さ h	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-1-11-7	
						延 長 L	-200	1施工箇所毎			
						基礎	幅 w1, w2	-30			基礎1基毎
							高 さ h	-30			
						アンカー長 ℓ	打 込 み ℓ	-10%			全数
							埋 込 み ℓ	-5%			
10 道路編	1 道路改良	12 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	幅 w	-30	施工延長20mにつき1ヶ所、施工延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-1-12-4	
						高 さ h	-30				
						延 長 L	-200				1施工箇所毎
10 道路編	1 道路改良	12 遮音壁工	5		遮音壁本体工	支柱	間隔 w1, w2	±15	施工延長5スパンにつき1ヶ所		10-1-12-5
							ず れ a	10			
							ねじれ b-c	5			
							倒 れ d	$h \times 0.5\%$			
						高 さ h	+30, -20				
						延 長 L	-200	1施工箇所毎			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)				
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50		基準高は片側延長20m毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、片側延長20m毎に1ヶ所掘り起こして測定。 幅は、片側延長100m毎又は測点毎に1ヶ所測定。 ※両端部2点で測定する。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	10-2-4
						厚さ	t < 15cm	-25			
							t ≥ 15cm	-45			
						幅	-100				
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚 さ	-7		幅は、片側延長100m毎又は測点毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側1000㎡毎に1ヶ所コアを採取して測定。		10-2-4
						幅	-25				

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道 路 編	2 舗 装	5 排 水 構 造 物 工	9		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-2-5-9
						延 長 L	-200	1ヶ所/1施工箇所		
10 道 路 編	2 舗 装	7 踏 掛 版 工	4		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	$\pm 20$	1ヶ所/1踏掛版		10-2-7-4
						各 部 の 厚 さ	$\pm 20$	1ヶ所/1踏掛版		
						各 部 の 長 さ	$\pm 30$	1ヶ所/1踏掛版		
					(ラバーシュー)	各 部 の 長 さ	$\pm 20$	全数		
						厚 さ	—			
						(アンカーボルト)	中心のずれ	$\pm 20$		
アンカー長	$\pm 20$	全数								
10 道 路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 $w_1, w_2$	-30	基礎一基毎		10-2-9-4
						高 さ h	-30			
10 道 路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ H	設計値以上	1ヶ所/1基		10-2-9-4

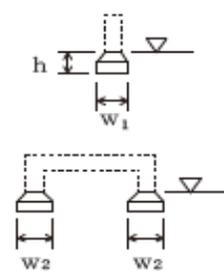
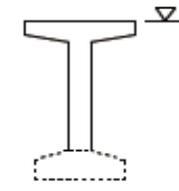
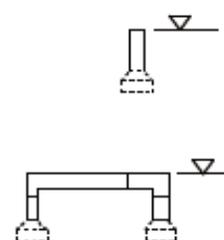
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	1	ケーブル配管工	埋 設 深 t	0~+50	接続部間毎に1ヶ所		10-2-12-5
						延 長 L	-200	接続部間毎で全数		
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	1ヶ所毎 ※印は、現場打ちのある場合		10-2-12-5
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 $w_1, w_2$	-30			
						※高さ $h_1, h_2$	-30			
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	-30	1ヶ所/1施工箇所		10-2-12-6
						高 さ h	-30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
10 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	部材	脚柱とベースプレートの鉛直度 $\delta$ (mm)	$w/500$	各脚柱、ベースプレートを測定。		10-3-3-3	
							ベースプレート	孔の位置	$\pm 2$	全数を測定。		10-3-3-3
								孔の径d	0~5			
						仮組立時	柱の中心間隔、対角長 L(m)	$\pm 5 \dots L \leq 10m$ $\pm 10 \dots 0 < L \leq 20m$ $\pm (10 + (L - 20) / 10) \dots 20m < L$	両端部及び片持ばり部を測定。		10-3-3-3	
							はりのキャンバー及び柱の曲がり $\delta$ (mm)	$L/1000$	各主構の各格点を測定。		10-3-3-3	
							柱の鉛直度 $\delta$ (mm)	$10 \dots H \leq 10$ $H \dots H > 10$	各柱及び片持ばり部を測定。		10-3-3-3	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路 編	3 橋梁 下部	6 橋台 工	8		橋台躯体工	基準高 $\nabla$	$\pm 20$	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による。		10-3-6-8	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 $w_1$ (橋軸方向)	-10				
						天 端 幅 $w_2$ (橋軸方向)	-10				
						敷 幅 $w_3$ (橋軸方向)	-50				
						高 さ $h_1$	-50				
						胸壁の高さ $h_2$	-30				
						天 端 長 $l_1$	-50				
						敷 長 $l_2$	-50				
						胸壁間距離 $l$	$\pm 30$				
						支間長及び 中心線の変位	$\pm 50$				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高				+10 ~ -20
							平面位置				$\pm 20$
							アンカーボルト孔の 鉛直度				1/50以下

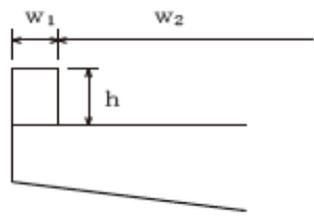
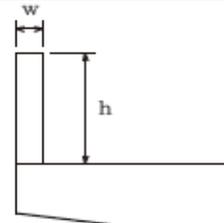
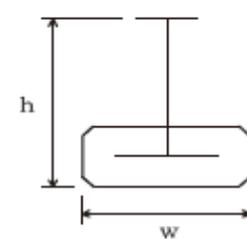
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要							
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	7 R C 橋 脚 工	9	1	橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	基準高▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による。		10-3-7-9							
						厚 さ t	-20										
						天 端 幅 w <sub>1</sub> (橋軸方向)	-20										
						敷 幅 w <sub>2</sub> (橋軸方向)	-50										
						高 さ h	-50										
						天 端 長 l <sub>1</sub>	-50										
						敷 長 l <sub>2</sub>	-50										
						橋脚中心間距離 l	±30										
						支 間 長 及 び 中心線の変位	±50										
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高				+10~-20						
					平面位置		±20										
					アンカーボルト孔の 鉛直度		1/50以下										

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基準高▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		10-3-7-9	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w1	-20				
						敷 幅 w2	-20				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-20				
						橋脚中心間距離 l	±30				
						支間長及び中心線の変位	±50				
						支 承 部 抜 ア ン カ ー ボ ルト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高				+10~-20
							平面位置				±20
アンカーボルト孔の鉛直度	1/50以下										
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	基準高▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-9	
						幅 w (橋軸方向)	-50				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-50				

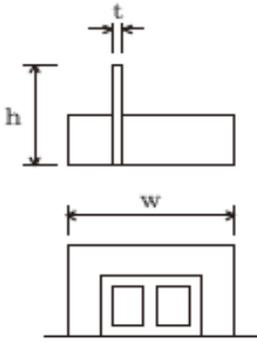
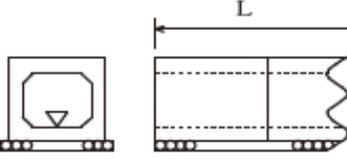
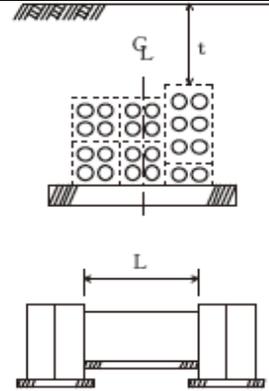
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	基準高 $\nabla$	$\pm 20$	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-9
						幅 $w_1, w_2$	-50			
						高さ $h$	-50			
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	基準高 $\nabla$	$\pm 20$	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-10
						橋脚中心間距離 $l$	$\pm 30$			
						支間長及び 中心線の変位	$\pm 50$			
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	基準高 $\nabla$	$\pm 20$	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-10
						橋脚中心間距離 $l$	$\pm 30$			
						支間長及び 中心線の変位	$\pm 50$			
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	11		現場継手工	現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	5 ※ $\pm 5$	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 ※は耐候性鋼材(裸使用)の場合		10-3-8-11

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	部材	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		10-4-3-9	
10 道路編	4 鋼橋上部	5 鋼橋架設工	10	1	支承工 (鋼製支承)	据付け高さ 注1)		$\pm 5$	支承全数を測定。 B:支承中心間隔(m)  支承の平面寸法が300mm以下の場合 は、水平面の高低差を1mm以下とする。 なお、支承を勾配なりに据付ける場合を 除く。  注1)先固定の場合は、支承上面で測定 する。 注2)可動支承の遊間(La,Lb)を計測し、 支承据付時のオフセット量 $\delta$ を考慮して、 移動可能量が道路橋支承便覧の規格値 を満たすことを確認する。 注3)可動支承の移動量検査は、架設完 了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		10-4-5-10	
						可動支承の移動 可能量 注2)		設計移動量 +10以上				
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)		コンクリート橋				鋼橋
								$\pm 5$				$4+0.5 \times (B-2)$
						水下 平 沓 度 の	橋軸方向	1/100				
							橋軸直角方向					
可動支承の橋軸方向のずれ 同一支承線上の相対誤差		5										
可動支承の 移動量 注3)		温度変化に伴う移動量計 算値の1/2以上										
10 道路編	4 鋼橋上部	5 鋼橋架設工	10	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ 注1)		$\pm 5$	支承全数を測定。 B:支承中心間隔(m)  上部構造部材下面とゴム支承面との接 触面及びゴム支承と台座モルタルとの接 触面に肌すきが無いことを確認。 支承の平面寸法が300mm以下の場合 は、水平面の高低差を1mm以下とする。 なお、支承を勾配なりに据付ける場合を 除く。  注1)先固定の場合は、支承上面で測定 する。 注2)可動支承の遊間(La,Lb)を計測し、 支承据付時のオフセット量 $\delta$ を考慮して、 移動可能量が道路橋支承便覧の規格値 を満たすことを確認する。 注3)可動支承の移動量検査は、架設完 了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		10-4-5-10	
						可動支承の移動 可能量 注2)		設計移動量 +10以上				
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)		コンクリート橋				鋼橋
								$\pm 5$				$4+0.5 \times (B-2)$
						水下 平 沓 度 の	橋軸方向	1/300				
							橋軸直角方向					
可動支承の橋軸方向のずれ 同一支承線上の相対誤差		5										
可動支承の 移動量 注3)		温度変化に伴う移動量計 算値の1/2以上										

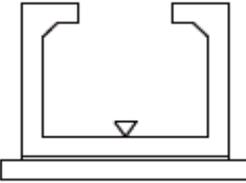
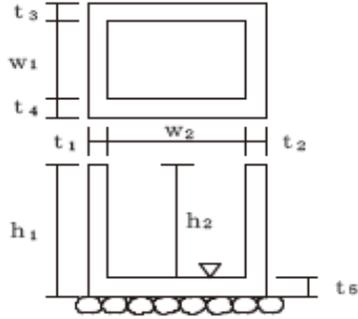
単位: mm

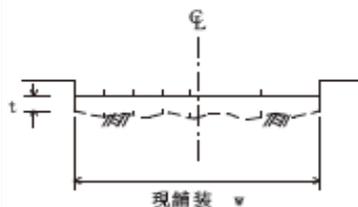
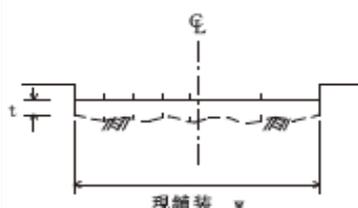
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の 削孔長	設計値以上	全数測定		10-4-8-3
						アンカーボルト定着長	-20以内 かつ -1D以内	全数測定 D:アンカーボルト径 (mm)		
10 道路編	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	5		地覆工	地覆の幅 w1	-10~+20	1径間当たり両端と中央部の3ヶ所測定。		10-4-8-5
						地覆の高さ h	-10~+20			
						有効幅員 w2	0~+30			
10 道路編	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	6 7		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 w	-5~+10	1径間当たり両端と中央部の3ヶ所 測定。		10-4-8-6 10-4-8-7
						高さ h	-20~+30			
10 道路編	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	8		検査路工	幅	±3	1ブロックを抽出して測定。		10-4-8-8
						高さ	±4			
10 道路編	5 コンクリート橋上部	6 プレベーム桁橋工	2		プレベーム桁製作工 (現場)	幅 w	±5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレス ング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3ヶ所とする。 ℓ:スパン長		10-5-6-2
						高さ h	10 -5			
						桁長 ℓ スパン長	ℓ < 15... ±10 ℓ ≥ 15... ±(ℓ-5) かつ -30mm以内			
						横方向最大タワミ	0.8ℓ			

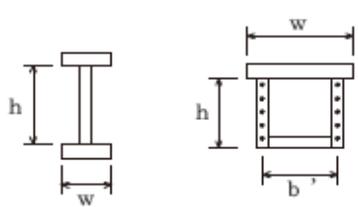
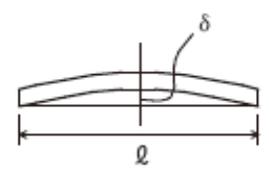
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	2		現場打躯体工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。		10-11-6-2
						厚 さ t	-20			
						内 空 幅 w	-30			
						内 空 高 h	$\pm 30$			
						ブロック長 L	-50			
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	4		カラー継手工	厚 さ t	-20	図面の寸法表示箇所にて測定。		10-11-6-4
						幅 w	-20			
						長 さ L	-20			
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	1	防水工 (防水)	幅 w	設計値以上	両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版にて測定。		10-11-6-5
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	2	防水工 (防水保護工)	厚 さ t	設計値以上	両端・施工継手箇所の「四隅」にて測定。		10-11-6-5

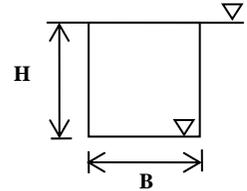
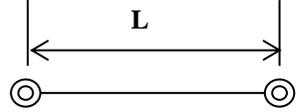
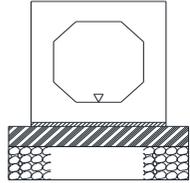
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	3	防水工 (防水壁)	高 さ h	-20	図面の寸法表示箇所にて測定。		10-11-6-5
						幅 w	±50			
						厚 さ t	-20			
10 道路編	11 共同溝	7 プレキャスト構築工	2		プレキャスト躯体工	基 準 高 ▽	±30	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。 延長 : 1施工箇所毎		10-11-7-2
						延 長 L	-200			
10 道路編	12 電線共同溝	5 電線共同溝工	2		管路工(管路部)	埋 設 深 t	0~+50	接続部(地上機器部)間毎に1ヶ所。 接続部(地上機器部)間毎で全数。 【管路センターで測定】		10-12-5-2
						延 長 L	-200			

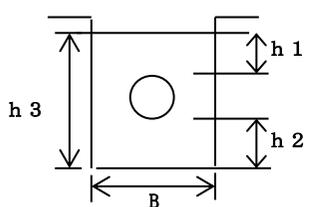
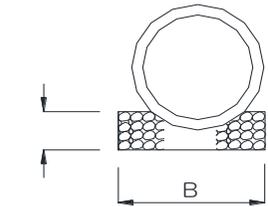
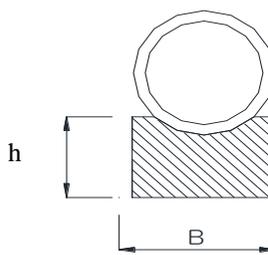
単位:mm

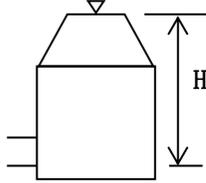
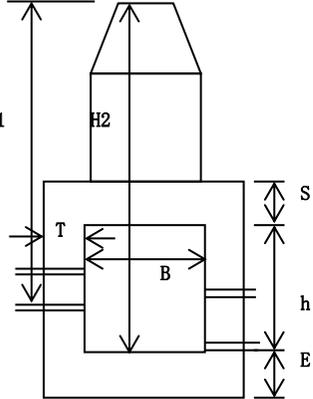
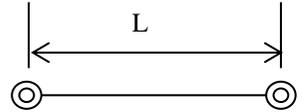
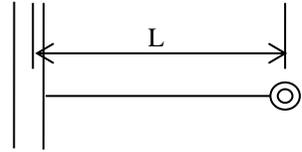
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	12 電線共同溝	5 電線共同溝工	3		プレキャストボックス工(特殊部)	基準高▽	±30	接続部(地上機器部)間毎に1ヶ所。		10-12-5-3
10 道路編	12 電線共同溝	6 付帯設備工	2		ハンドホール工	基準高▽	±30	1ヶ所毎 ※は現場打部分のある場合		10-12-6-2
						※厚さt1~t5	-20			
						※幅 w1, w2	-30			
						※高さh1, h2	-30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X <sub>10</sub> )			
10 道路 編	14 道路 維持	4 舗 装 工	5		切削オーバーレイ工	厚さ t	-7	-2	厚さは20m毎又は測点毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割とし、延長20m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		10-14-4-5
						幅 w	-25	—			
						延長 L	-100				
						平坦性	—	3mプロフィールメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下			
10 道路 編	14 道路 維持	4 舗 装 工	7		路上再生工	路 盤 工	厚さ t	-30	幅は延長20m毎又は測点毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、各車線20m毎に左右両端及び中央の3点を掘り起こして測定。		10-14-4-7
							幅 w	-50			
							延長 L	-100			

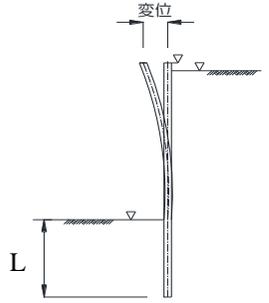
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
								鋼桁等	トラス・アーチ等		
10 道路編	16 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	フランジ幅 $w$ (m) 腹板高 $h$ (m) 腹板間隔 $b'$ (m)	$\pm 2 \cdots w \leq 0.5$ $\pm 3 \cdots 0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \cdots 1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \cdots 2.0 < w$	主桁・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 I型鋼桁      トラス弦材	10-16-3-4
								床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。		
					圧縮材の曲がり $\delta$ (mm)	$l/1000$	—	主要部材全数を測定。 $l$ : 部材長(mm)		10-16-3-4	

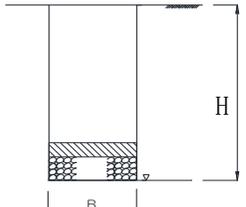
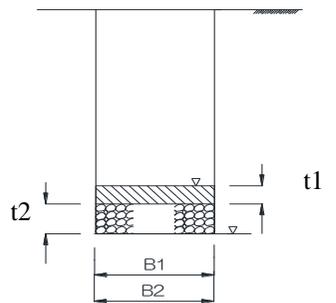
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 下水道	1 管路	4 管きよ工 (開削)	2 管路土工		管路掘削	基準高 (EL)	±30	人孔間毎に1箇所、立坑毎		
						幅 (B)	-50			
						深さ (H)	-30			
14 下水道	1 管路	4 管きよ工 (開削)	3 管布設工		管布設	基準高 (EL)	±20	人孔間毎		
						勾配 (i)	実流量以上			
						布設延長 (L)	口径(管種毎) トータル -100 工区 トータル -200	人孔間毎に1箇所		
14 下水道	1 管路	4 管きよ工 (開削)	3 管布設工		既製く形きよ	基準高 (EL)	±20	人孔間毎		
						勾配 (i)	実流量以上			
						布設延長 (L)	口径(管種毎) トータル -100 工区 トータル -200	人孔間毎に1箇所		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 下水道	1 管路	4 管きよ工 (開削)	4 管基礎工		砂基礎	厚さ (h1, h2, h3)	設計値以上	人孔間毎に1箇所		
						幅 (B)	設計値以上			
14 下水道	1 管路	4 管きよ工 (開削)	4 管基礎工		碎石基礎	厚さ (h)	設計値以上	人孔間毎に1箇所		
						幅 (B)	設計値以上			
14 下水道	1 管路	1 管きよ工 (開削)	4 管基礎工		コンクリート基礎	厚さ (h)	設計値以上	人孔間毎に1箇所 立坑毎		
						幅 (B)	設計値以上			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 下水道	1 管路	8 マンホール工	4 組立マンホール工		組立マンホール工	基準高 (EL)	マンホール深の ±50	マンホール毎		
						マンホール深 (H)				
14 下水道	1 管路	8 マンホール工	6 特殊マンホール工 (躯体工)		特殊マンホール工 (躯体工)	基準高 (EL)	±50	マンホール毎		
						マンホール深 (H1, H2)	±50			
						躯体厚 (T)	設計値以上			
						スラブ厚 (S)	設計値以上			
						底版厚 (E)	設計値以上			
						内空幅 (B)	設計値以内 かつ-30			
						躯体高 (h)	設計値以内 かつ-30			
14 下水道	1 管路	5 管きよ工 (小口径推進)	2 小口径推進工		削進工	基準高 (EL)	±20	人孔間毎		
						勾配 (i)	実流量以上			
						布設延長 (L)	口径 (管種毎) トータル -100 工区 トータル -200	人孔間毎に1箇所		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 下水道	1 管路	5 管きよ工 (小口径推進)	2 小口径推進工		小口径推進工 (内径800mm未満)	基準高 (EL)	±25 (目標値)	推進管1本毎		
						布設延長 (L)	口径トータル -L/500かつ-100 工区トータル -200	1スパン毎		
						勾配 (i)	実流量以上	人孔間毎		
							逆勾配は認めない	推進管1本毎		
水平蛇行	±25 (目標値)	推進管1本毎								
14 下水道	1 管路	6 管きよ工 (推進)	2 推進工		中口径推進工 (内径800mm以上)	基準高 (EL)	±25 (目標値)	推進管1本毎		
						布設延長 (L)	口径トータル -L/500かつ-100 工区トータル -200	1スパン毎		
						勾配 (i)	実流量以上	人孔間毎		
							逆勾配は認めない	推進管1本毎		
水平蛇行	±25 (目標値)	推進管1本毎								
14 下水道	1 管路	7 管きよ工 (シールド)	2 一次覆工		一次覆工	基準高 (EL)	±50 (目標値)	1リング毎		
						延長 (L)	-100	1スパン毎		
						蛇行	±50 (目標値)	1リング毎		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 下水道	1 管路	7 管きよ工 (シールド)	3 二次覆工		二次覆工	基準高 (EL)	±25 (目標値)	1打設毎		
						延長 (L)	-100			
						蛇行	±25 (目標値)			
						勾配	実流量以上			
14 下水道	1 管路	10 立坑工	3 立坑土留工		立坑土留工 [任意仮設は除く] (鋼矢板) (軽量鋼矢板)	根入長	設計値以上	基準高は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 変位は、施工延長20m(測点間隔25mの場合は25m)につき1箇所、延長20m(又は25m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		任意仮設の場合は除く。 変位は鋼矢板のみ対象とする。
						変位	±100			
14 下水道	1 管路	10 立坑工	4 ライナープレート式立坑工		ライナープレート式立坑工	基準高▽	±50	各リング毎		
						根入長	設計値以上			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 下水道	1 管路	10 立坑工	5 鋼製ケーシング式土留工及び土工		鋼製ケーシング式立坑工	基準高▽	±50	各ケーシング毎		
						圧入深	±30			
						掘削深	±30			
						立坑深	±30			
14 下水道	1 管路	10 立坑工	2 立坑土工		立坑土工	基準高 (EL)	±20	1施工箇所毎に測定する		
						寸法 (B)	±100			
						深さ (H)	±30			
14 下水道	1 管路	10 立坑工			立坑基礎	基準高 (EL)	±30	1施工箇所毎に測定する		
						碎石基礎幅 (B1)	設計値以上			
						碎石基礎厚さ (t1)	設計値以上			
						底版コンクリート基準高 (EL)	±30			
						底版コンクリート幅 (B2)	設計値以上			
						底版コンクリート厚さ (t2)	設計値以上			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 下水道	1 管路	11 地盤改良工	1 薬液注入工		地盤改良工 (薬液注入工)	延長・幅・面積	設計値以上	全箇所		
						基準高▽	-50			
						削孔深	設計値以上			
						改良高	設計値以上			
						注入量	設計値以上			
14 下水道	3 管路	11 地盤改良工	2 高圧噴射攪拌工		地盤改良工 (高圧噴射攪拌工)	延長L	設計値以上	1箇所／1施工箇所		
						基準高▽	-50	全本数		
						杭径D	設計値以上	1箇所		
						深度	設計値以上	全本数		